

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設（1－58）、MOX 燃料加工施設（1－58）」

2. 日時：令和3年8月31日（木） 13時30分～17時10分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

古作企画調査官、岸野主任安全審査官、津金主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査専門職

日本原燃（株） 再処理事業部 部長 他26名

東京電力ホールディングス（株） サイクル技術グループ  
グループマネージャー

関西電力（株） 原子力事業本部 原子燃料部門  
原燃計画グループリーダー 他1名

九州電力（株） 原子力発電本部 原子燃料サイクルグループ 副長

三菱重工業（株） 原子力セグメント 安全高度化対策推進部  
主幹プロジェクト統括 他1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っております。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

[https://www.nsr.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000069.html](https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html)

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和 2 年 12 月 24 日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nsr.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000124.html](https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html)
- ・ 令和 3 年 8 月 24 日  
「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	原子力規制庁の武田です。はい。それではただいまから日本原燃株式会社とのヒアリングを開始いたします。
0:00:09	本日のヒアリングは例は2年12月に申請があった設工認申請につきまして、8月24日に提出があったヒアリング資料をもとに、事実確認を行うものになります。
0:00:23	まず規制庁側からの出席者ですが、本庁側がツガネ、ハバサキタケダ
0:00:31	部からの参加がカミデキシノ以上になります。
0:00:36	それでは日本原燃の方から出席者の紹介と、本日のヒアリングの説明範囲と達成目標について説明をお願いいたします。
0:00:49	日本原燃の藤野です。本日、日本原燃側の出席者ですが、再処理事業部の方から村のナガサワタカハシ、フジノさとそれからMOXのほうからタカマツタニグチ、ヤマダイシハラ
0:01:05	来た地震関係でサガワ富田ヨシダスケカワ、ニシヤマイトウ
0:01:12	あと設備側ですね、ハラダメトキ、タナカイシバシ、コウタケイシハラ三上、あと三菱重工様から網野様と鋭意んやけ様が参加する予定になってございます。
0:01:26	本日ですが、今の画面共有している。耐震綺麗の16番、それから耐震期限十分説明してそのあと耐震綺麗の13番と14番の説明をさせていただきたいというふうに思っております。
0:01:39	よろしければ議連対耐震基準16番の資料のほうから説明に入らせていただきます。
0:01:47	規制庁の武田です。はいわかりましたそれでは今お伝えいただいた順番で進めていくということで承知しました。
0:01:56	それでは耐震起電16のほうから説明いただく内容がありますようお願いいたします。
0:02:03	はい、日本原燃サガワです。退勤起電16というところで配管系の評価手法定ピッチスパン法っていうところになります。本資料につきましては7月28日にイトウご指摘いただいた内容としまして、この資料として本当まず
0:02:20	本値として示すところと、添付として示すところ0でピッチスパンに関わるところについてはそれは本市でしょうということで構成を大きく変えていますというところになってますんで構成を変えた上でまず入口のところです、適用範囲っていうところの考え方配管の設計とは何ぞやっていうところを書き下した上で適用範囲、
0:02:40	低ピッチと他地点というところで記載を変えていますというところになってございますと、その他のヒアリングでいただいたコメントとしまして、だくともこれ含める

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	んでしょうっていうところでダクトについてはちょっと首肯だけ変えるんじゃないなくて一部評価のモーメントですね。
0:02:57	ちょっと違いますのでそこは次回で示しましょうということで考えているということを書かせていただいています。もう1点としまして、電路のところのTPPっていうのを示さなきゃいけませんので、そこについては、本当築地っていう形でまち入れるってことになってますんで最終的に本資料の目的っていうところがよくわからないってご指摘ありまして、
0:03:17	まず、定ピッチっていうのが設計方針ということになってございますので、設計方針で設定したのに対して、実機施工のスパンで文化を見た場合にどうなるっていうところを添付の中で展開して日というのはこういうものだという事で構成全体見直したということになってございます。よろしくお願ひします。
0:03:40	規制庁の武田です。はい。ありがとうございます。それでは耐震疑念16につきまして規制庁側から確認事項がありましたらお願いいたします。
0:03:55	規制庁神戸です。
0:03:58	本店のほうは大幅に変わっても大体わかりやすく数字ですけど、村長がもう
0:04:13	OOI-1 街区員数思う／。
0:04:20	すみません、今回答のところはつくられないんですけど、ニシヤマカの強化について
0:04:31	記載しているここすみません、どっちがでしたっけ。
0:04:36	日本原燃の富田ですと18ページの3ポツのプログラムでできに3四つ目のまたのところで記載させていただいております。
0:04:46	以上です。
0:04:56	はい。
0:04:58	はい、指定情報班別の
0:05:08	応力、今回対象じゃないっていうところを、
0:05:15	結果を補足説明で説明しますみたいなのが、すみません、どこかにあったと思うんですけど、ちょっと今資料でつけられないんですが、PARを思い当たるところますと、
0:05:31	今現在の富田です。すいませんその18ページの今のマターところで、
0:05:37	大会申請範囲ではないですっていうのがまた以降に書かせていただいてその次の段落のところで確認結果っていうのを次回の示しますよっていうところで記載させていただきます。
0:05:51	規制庁個別わかりました。この次回新生児に別紙っていうのは、補足説明資料の別紙っていう意味ですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:03	日本原燃の富田です。はい、すいません。ちょっとあの本資料の別紙っていう意味で、すいませんちょっとこの日本語わかりづらかったんですけど、ちょっと目次ですね本市の目次のところで2ページのところです、目次のところに記載してます別紙2のところで、建屋間相対変位に対する確認結果っていうところを示すっていうところで、
0:06:23	すみません、この記載とあわせて、
0:06:26	本資料のっていうところでした。
0:06:30	規制庁管ベースで高温したいんですけど、
0:06:36	1次応力については申請書の添付におきます。非常に多くは、補足説明資料なんです。
0:06:46	区分けの考え方がよくわからないんですけども、見ますと、
0:06:53	はい、懸念サガワですねその添付とんと別紙補足っていうところについてなんですけども、前回の耐震の基本方針のときの御指摘の中で、別添って何ぞやっていうところの指摘もらってますんでそこに対しましては添付で示すものは添付で示す。
0:07:12	補足で示すものが補足で示す別添で示す学べて示すっていう整理を今いまだ一度実施してございますと、その扱いについては、今後、共通側でこういうふうにしてきますよっていうところのまとめりから耐震の別紙に落とし込んで、ここで示しますっていうところを展開していきますんで。
0:07:30	現状ここに今イトウ別紙で示すっていうしてるところにつきましては参考として、炉側のほうの示し方を参考にしてこういう形にしてみましたけども、先ほど申しました通り、その添付なのか別添なのか遅くなるのかっていうところはいまだ一度整理した上で指名したいということで考えてございます。
0:07:48	カミデさんの御指摘は店舗の中ですべてをクローズさせないと駄目じゃないかという指摘っていうところは理解してますので、今の考え方を踏まえて、この扱いというのは整理させていただきます。以上です。
0:08:04	はい、規制庁コンビニですと
0:08:08	感覚的には事情よく二乗力で扱ってるん違うのはよくわからなくて、全部じゃないかと思うんですけど、／じゃなきゃいけないっていうわけでもなくて、いずれにしても何をどこに書くほか全体の整理から、
0:08:26	建販していかなきゃいけないことを作って、もうそういう意味の確保だと。
0:08:35	はい、日本原電サガワで承知いたしました。
0:08:43	規制庁関連してもですね。うんと二次応力の話なんですけど、ハイパーの耐震支持放水んついている設計フロー。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:58	どこに入ってるかよくわからないですね、今日のヒアリング資料ではないんですが、地震 0001 の
0:09:10	R5 という資料を 8 月 10 日、事務局としても、の
0:09:17	ページ数を今お手元には効果の 361 ページにグローバルクドウ。
0:09:25	この中でどう入り込んでくるとかがよく項目を今お手元にあって説明しますか。
0:09:35	日本原燃サガワです。今、手元にはありますので少々お待ちください。
0:09:40	。
0:09:50	現在コミットですすみません 361 ページのフローなんですけど、投票所指示勘案中段のところですね標準支持間隔もによる配管設計っていうところで、あと支持構造物の位置を決定しますっていうところがございます。(1)のところですね。
0:10:05	そこで二乗力を考慮して、その支持構造物の位置を決めて長さを決めるって言うところに含まれてございます。
0:10:13	以上です。
0:10:16	規制庁上出です。
0:10:20	2 次応力の検討自体は
0:10:25	厳密に言うピッチ方スペック使おうというものでは、
0:10:30	ない手法を多分使われるんじゃないかと思いますけれど、
0:10:36	それに置いてもこの中ですんで、そういうことです。
0:10:42	日本原燃と認め数とすみませんこれ返答標準支持間隔法による本当配管設計するに当たってハヤカワキクチ時間確保というのは 1 次応力ですので、それだけではどうこれできてないってことになりますんで支持構造物を決定するとき本当に 10
0:11:01	6 実際の配管として二次応力を考慮して決定するっていうところになってますので、
0:11:08	すみません
0:11:09	重畳支持間隔法による配管設計って言うところでCAQ可能医療力も考慮しているっていうところになってございます。
0:11:20	規制庁嘉門です。スプレイ、そういう整理になると、今度本文側で
0:11:28	そこでちゃんと御使用量を見ていて、及ぼご提案Aかということで、もう
0:11:37	配管耐震水準更新中で、きちんと説明が進むべきだと思って
0:11:46	資料の中にも今見直された以降マスクの修正の際にはその辺り、もう念頭に作業する。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:01	日本原燃の水戸です。すいません。ちょっと今二乗力の考慮の仕方というところが、配管の耐震支持方針に記載しているんですけどちょっとすいません、回答ページを今探してますので少々お待ちいただけますポンプ、
0:12:23	日本原燃汲み取るすいませんイトウ飛散配管耐震支持方針の 359 ページのところにと配管の設計、
0:12:33	手順 1 ポツ 2 のところですね、のところに
0:12:39	(8) 番のところにやっとならば相対変位を考慮する場所についてはその辺に対して十分耐え得る設計とするっていう記載。
0:12:46	がございませんでうんと配管設計するにあたっては二乗力を考慮するっていうところはちゃんとし法人日本中記載さしてはおります。
0:13:01	はい、上出です。
0:13:04	この場所に基本原則こう書いてそのあとの展開しているところで、このフローも先ほどのイメージはずっと標準支持間隔法の説明の枠の中で二乗力としてはこういうものをやっています。
0:13:22	という言葉の整理されてるPARの本文のほうもそういう意味でも会見オオオカ教えないですけども、いま一度見直してもらえます。
0:13:42	日本原燃みたいですよすいません繋がりが見えてこの 4 年サガワです。この基本原則にまず書かせていただいてそこから書き下しているのが後ろのほうに行きますと、そうなったときにここの関係が見えないからっていうところでそこをしっかりとフローの中でも見えるようにしろという指摘だっけ理解してますけどよろしいですか。
0:14:04	カミデです。このフローを直す必要があるかという、スクラム生物だね、今のフローそのままであれば、その水道とページ数に 300 本が 70 ページから
0:14:21	事業スーパー各国地域を
0:14:26	コア、
0:14:28	水室にアポを設けてみた方もちょっと阿蘇そこのかフローのその該当部分の説明のところ、25 をやってます風向ばあの範囲等を
0:14:48	全体として整合は超えるお伝えしてですけども、今は、
0:14:56	日本原燃の断層をコア等の皆さんも御指摘、理解しました。そこに基本原則が記載されてるの中で、標準支持間隔を用いた評価方法の中で、ちょっとその繋がりが見えないっていうところですので、
0:15:10	その記載ぶりちょっと検討したいと思います。以上です。
0:15:18	はい規制庁嘉門ですけど、結構毎日です。
0:15:22	それであと、一つを
0:15:26	そういう説明にもですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:32	。
0:15:35	次に9ページ以降にこのずつ施工配管に対する確認として、
0:15:45	資料の添付資料が載ってますけど、
0:15:50	一番大きい。
0:15:52	問題意識を持っているっていうか、手当をしてもらいたいのは、
0:15:57	ここで幾つか
0:16:00	モデルをつくって比較をしてますけど。
0:16:03	このモデルでたまたま応力の低いモデルを選定してるんじゃないですか。
0:16:09	もっと厳しいファンが損傷施設内にあるんじゃないかという弁に対して答えるかというところが、その辺り整理した。
0:16:22	日本原燃富田です。すいませんそもそもこれ指定ピッチで施工した配管っていうところで今比較対照として挙げさせていただいてます等々ピッチがぐんとそ。
0:16:35	OKで違うと厳しかったとしても、定ピッチと実施工配管の関係っていうところはうんと直管部は共助支持間隔より短く施工しますっていうのと、ちょっと雨がイノ形状っていうのを聞く処理と比較を用いて設計しているっていうところになりますので標準支持間隔があんと。
0:16:53	成立しているのであれば、同日施行配管系はのはおのずとそう成立するっていうところで今の例としては1モデルを選定していますが、すべての配管に入れるって言うところで記載させていただいております。
0:17:16	はい。規制庁カミデです。
0:17:20	直管部については、あまり心配はしてなくて、
0:17:27	バリウムところがどう
0:17:33	すごい直下のすごいなんすぽんも直管はあったということに
0:17:38	バッテリー第1サポートというところは基本的に応力を大きく作用すると思うんですね、
0:17:50	今回来モデルを選定してますけど、そういった観点で、より直管部のスパンは大きいと回ってからの寸法もう長い配管というか、
0:18:04	空くんじゃないかと思うんですけど。
0:18:07	そういう
0:18:09	ことに対してどういう
0:18:11	手当をされていてさ、そういうものがあるんだけど、今この延焼もってスイッチをすべて最初に施設のその適用する場合には、経営できる。
0:18:25	考えてるところの考え方っていうのはわからない。そのあとに説明いただきたい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:18:33	日本原燃と見立て数と今の御指摘なんですけども、到底ピッチでずっとその部分だけを見ているのではなくてももちろん3方向を確認しておりますのでそういうもの出し方って言うのが等価直管長さってところの22ページに書かさせていただいてるようなやり方でやってございます。
0:18:51	カミデさんおっしゃった、今直管部のスタッフが続いて先にある曲がりにはその応力がくるのではないかっていうご質問に対してなんですけど、泊も見る際には、その直管部が担当が違います。すいません、検討地域かと思ってるってところまではナガサワを見てあげて、
0:19:11	その等価直管長さってところに置き換えてございますので、ちょっと
0:19:16	その直管部異常以外の形状に対しても手当てできているっていうことになってございます。
0:19:21	以上です。
0:19:27	規制庁ちょっとあんまり問題意識が伝わって全員が医療な感じがするんです。今お答えになっているのでその湾スパンをそのまま間借りを含んだ湾スパンだけの話をされているように、
0:19:43	思うんですけど、私はその先のスパンの直管部の事故の影響について、部分的によると思うて軸は個別に
0:19:56	それ以降のSPARTの軸の応力にまずおかげさ力が回っていくことへのサポートに集中してはいるんじゃないかということは
0:20:11	イメージしてお話したものですけど、そこはちょっと待つと。
0:20:15	はい、日本原燃サガワです。すいません1のトミタの色と少し足りなかったので、ちょっと下のページ24ページ見ていただきまして、
0:20:27	はい。
0:20:28	ここでちょっと経営上の設定スでそうなったときに、例えば曲がりってところがありますその手前には直観もちろんありますので、その直下の長さがその曲がりにもどう効いてるんだってところの御指摘だと理解してます。
0:20:46	で、そこにつきましては、まさに今、カミデさんのほうからちょっと発言あります通り、軸方向っていうのは集中質量としてその曲がりに対して見てますので、その曲がり集計し治療の関係で大丈夫ってところで確認しているとそのあたりの記載が今、
0:21:03	書かれてませんのでそこはちょっと丁寧に書いた上で配慮してますよということで、そこは修正いたします。以上です。
0:21:15	支店長還元率収益性質問に置き換えて導入管が水位は、
0:21:24	CTOじゃないのってスタッフコードの受振00の、
0:21:32	RVの学校、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:36	ちょっと質問の降雨なしがあったように、
0:21:49	そもそも、今、
0:21:51	任してるんですけど、そういう集中するよう有る場合のハウス支持間隔のグラフなインフレあり方書いてあるページ7ページ以降です。
0:22:04	区画については、日本原燃サービス少々お待ちください。
0:22:30	日本原燃未達と配管の耐震支持方針のこの下のページと言うと、すみません、ちょっと縮小率を使ったやり方っていうので406ページからイトウ記載させていただいております。
0:22:44	その中で縮小率って言うところは408ページのところに該当する。
0:22:51	回答します。
0:22:56	ベッドもありまして、408ページのスプリングの上の図ですけどマイカーを監査し、
0:23:07	このタグルールっていうのを
0:23:10	要は直管部な場合の直管部の質疑をして、
0:23:17	日程と、そういうやり方をするとこと日本原燃富田はいか皆さんの
0:23:26	御指摘の
0:23:30	すいません、日本原燃富田です。すいません集中質量の見方なんですけど、今、当二つ見方がございまして、実際に配管の上に物が乗っている弁だと思ってる時に集中質量っていう見方と、あともう一つ今おっしゃっていただいた軸方向ですね。
0:23:46	このナガサワの重さナガサワに対する重さっていうところ載せているっていうのが縮小率集中グラフの使い方になってございます。以上です。
0:23:58	規制庁カミデです。そういう手当を作っているなら、特に問題はないんですけど、今日はそういう方針を一つつくれば、
0:24:11	思われているんですけど、この(5)番の8ページの(5)番のスピードそれです。
0:24:17	指摘は記載がそれですか。
0:24:27	規制庁カミデタテウチがいます。
0:24:32	これを先ほど最初に置いた単点2弁ところ場合の話の直管部持ち候補の重量というものを反映しているかというのは
0:24:47	こちらの先進地方針にさっきの説明が書いてあれば、また四、五千、お伝えしたというのを解消するのですね。そういった形で資本が55号に直していただければますと、Cですと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:06	日本原燃富田です。すいません。はい、ご指摘の通りに集中本当に物が乗っているってところの記載だけになっておりますので、ちょっとその記載ですね事項込みますよっていったところは記載を、
0:25:19	検討したいと思います以上です。
0:25:25	はい。規制庁歓迎す。私からは抗体新編 10 の三つ目は以上です。
0:25:39	規制庁の武田です。その他起電 16 関係規制庁側から確認事項ございますでしょうか。
0:25:51	はい。
0:25:52	規制庁の武田です。ないようでしたら、日本原燃の方から本資料についての、すみません。はい、すいません。1 点確認というか、あんまり関係ないんですけど、26 番。
0:26:06	タジリ海進説明は以上事故が発生しないということなんですけど、堂々との取り合いゲートの点で首とか、本ですか。
0:26:27	日本原燃メトキSA等第 1 回の申請範囲というところに関しましては、
0:26:33	次のかも耐震切れん中 13 のところで示そうとはちょっと考えていたんですけどもすみません耐震以外にもですねちょっと竜巻とかっていう整理の中で、まず 13 番のほうに、まず、先週示しますといったところが示せてませんっていうのは一つ、今回
0:26:51	申請範囲といったところに関しましては、前回のヒアリング等でも話をしてます通り等を考えと共同こっから出てきたところの母管部分は当初申請範囲から外しましてその分岐部から冷却塔の観測部分。
0:27:08	といったところを申請範囲とすることで現在整理考えております。以上です。
0:27:18	規制庁歓迎す。その場合ですね、使用料だとか、ピッチスパン表もやっぱ
0:27:28	そういったものが分割されるということだと思んですけど、そのあたりどういふふうに申請書に括弧がばという整理は、これもう大体進んでる。
0:27:45	日本原燃目とケースAと整理しました。当一通り済んでいるとは考えているんですけども、先ほども言いました通りちょっと同様の方法、考え方で竜巻
0:27:57	風による影響評価ですとかそういったところにも適用できるかとかですねあと最終的な
0:28:04	同補足説明書としてもそのまとめ方とかといったところでちょっと今整理に時間を要している状況でして、その辺が最終的にまとめ上がり次第、御説明したいと今考えております。以上です。
0:28:21	規制庁金澤のいろいろ整理する観点はあるとは思いますが、THAI森林で話を聞いているとしては、やはり
0:28:35	使用状況か。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:37	中途半端になる。第1回の主要2棟改正あと次回に
0:28:46	どう直るの
0:28:47	配管の支持間隔等にしても、
0:28:51	はい。こういう記載でもらおう総括で9までなんですね、水、後の安全どういふふうに直すとか、
0:29:06	全然イメージなんで、その辺りは早くさせて説明できるようにします。
0:29:17	日本原燃メトキケース、すいません、遅れており申し訳ないんですけど早急に示すよう配置いたします。以上です。
0:29:28	やっぱりその席上です。
0:29:33	規制庁の武田です。それでは日本原燃のほうから本署についての修正方針について説明をお願いします。
0:29:41	はい、日本原燃さんがですね、まさに最後お話あった所相対変位のところの扱いってところなんんですけども、そこについて今この別紙に示すとしてたものについては、添付7の壁ってなのかっていうところを共通側の別紙シリーズの中でどこで示せというところで修正していくということに
0:29:59	だってその考え方をこの資料に反映させるというのがまず1点あります。2点目としまして先ほどFじゃないすみません、集中質量というところが基本方針上どこまで見ているんだというところが足りてませんので、基本方針の中に奮闘事故方向見てるよっていうことを
0:30:16	期待するということで修正いたします。以上です。
0:30:27	規制庁の武田です。はい、よろしくをお願いします。
0:30:31	それでは、本資料通し、確認としましては以上とさせていただきまして、次の資料の確認済みます。
0:30:39	水際耐震切れん中水平2方向の組み合わせに関する設備の抽出及び考え方について、
0:30:46	本書につきまして提言の方から補足で説明する内容がありましたらお願いします。
0:30:53	はい、上限3はですね、本資料につきましては6月30日の時点で、また同じような話なんですけど、定ピッチの鉛直方向の配管に対する代表性ってところをどう考えるんだと次回のときにどう示していくんだってところを、
0:31:10	ちょっと書きくたさなきゃないなというところでコメントいただいてたところの方が大きなコメントになってございますと、それに対しまして先ほど説明した定ピッチってところの資料を確認した上で、低ピッチに対して検討をこの水平2方向どうやってくってところを反映させなきゃないというところで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:28	なので、その先ほど定ピッチの7要素っていう標準以外の標準語様な要素っていうところを反映させて修正してきたというのが大きな変更点になってございます。以上です。よろしくお願いします。
0:31:43	規制庁の武田です。ありがとうございます。では本資料につきまして確認事項と規制庁側からありましたらお願いします。
0:31:54	規制庁込みを作って今ほど説明いただいたように、徹底Cのところを考えている。
0:32:05	いえ、人校にその延焼の件は進んレースされていますか。
0:32:16	Hを足してんで。
0:32:19	なぜ扱いが違うのかというところはまだ資料からはわからないなと思うんですけど。
0:32:27	7ページにフロー図があるんですけど、1デパート経路を遅い便でファクタというのは、それぞれどうなって内に説明いただきます。
0:32:40	日本原燃吉原でございます。
0:32:43	ちょっとそのありましたKPちゅうたちってどういった経路をたどっているかということで説明させていただきます。
0:32:49	まずて物に関しまして、給付の7ページのフロー例で言いますと、(1)番、水平2方向の地震力が重複する観点というところで、こちらの方にもお示しさせてもらってるんですがそうページで、
0:33:04	言いますと、82ページ。
0:33:07	ご覧になっていただけますか。
0:33:14	8ページの表の中です、一番左に⑬番配管本体の低ピッチスパン法というところがあるんですけども。
0:33:23	このピッチスパン法のところで、
0:33:27	周辺国も複数ページ(1)番から(3)番目に並べてございます。
0:33:32	(1)番のところですね、影響軽微かどうかという観点で見ているのが、
0:33:42	低ピッチに関する影響は軽微だと、その理由としましては水平2方向の地震力を組み合わせても1個進学応力と同等といえるということで、この低ピッチに関して先ほどならヨウ素に対して等々という理由を示しているものとなっております。
0:33:58	一方、14番が執権はりモデルに対する検討内容になるんですが、私っていうものになりますと、
0:34:07	農協様々な形状ございますので、
0:34:12	はい。
0:34:14	フローローリーところの(1)番。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:17	オオオカごとの地域に行って消火重複する構造であるというところに対して様々な形状に対してはすべてないというふうな話は、
0:34:24	できませんのでこれ影響が可能性があるということで整理をしてございます。
0:34:33	すみません、今、フローの一番に対して 82 ページの表例をお話したことになっております。
0:34:39	ここで影響があるというふうになりましたので、(2) 番のほうでCCFに高校と直交方向のねじれの話。
0:34:48	を確認しまして、メールでも影響があると。
0:34:52	さらに、
0:34:54	このフロー二つの観点で影響の可能性があるので、(3) 番の支援はして
0:35:02	こちらに対しましても、配管というものに関しては様々な形状がございますが、3 方向の広がりを持つという可能性がもちろんありますので、その応答値が明確とは言えないものもあるので、こちらにも影響ありということでの影響評価実施に、
0:35:18	深度となっております。以上です。
0:35:23	日本原燃西山です。補足しますと配管って言うところで形状が違いますと 8. 半か三次元的な広がりを求めますので、そこが音時期ってとが見えなくなっておきません、TPPちゃんかんといってところは直下に対して、
0:35:38	二次元的な経常持つはい。
0:35:41	もともとなので、
0:35:45	影響といったところで風呂が右側に行きますと、
0:35:50	その後判断としてとことしましては、7 ページのフローの(1)の水平 2 方向の地震力が重複する観点で、
0:35:58	識別しております。
0:36:01	以上です。
0:36:06	規制庁上出です。ちょっといろいろ説明いただいて、そういう意見が抜本のまじっぺんの配管の話をする(1)は 10 複数ですか。
0:36:25	読めないヨシダつつ(1)の重複性があります。
0:36:31	興産不安で、これは影響が担う。
0:36:36	(3) 番ではい様々な形状がございますので、すべての受け付け明確じゃないと。
0:36:42	ということで、影響範囲の方へ進んでおります。以上です。
0:36:49	はい、委員長から出て、それについては(1) 番はもう充足しないという整理になるんですか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:00	日本原燃します。
0:37:02	その通りでございますこれは先ほど三島申しました通り、
0:37:07	日本原燃、西山です。すいません耐火アトピー耐火に関しましても、水平の配管と鉛直の配管がありまして、これ重複しないって書いておりますのは水平の配管になっておりまして、
0:37:19	鉛直の家に関しましては、
0:37:23	水平 2 方向キシノか重複する観点で言っているところで括弧 1 のフローの重複するっていうところのフローに流れていきます。
0:37:33	突貫ブレースじゃあえっと低ピッチの水平だけの話ですね、デビット本数平和 (イ) 工作中進まないで、
0:37:43	2 号、
0:37:47	それが増加しないの。
0:37:51	日本原燃調べましたイトウのちょっと補足させていただきます。
0:37:56	こちら、あくまで消火に対して水平 2 方向野影響を見ているものでございます。ちょうどた場合ですが、急ピッチというものは、
0:38:06	作業が
0:38:07	一時変わるに置き換えておりますので、これに関しましては、イトウ一体で汚水鉛直は重複するかもしれませんが、教育一致というモデルに関しましては重複はしないということで今整理を行っているものとなっております。
0:38:23	以上です。
0:38:29	スミ直感です。今をそろえて言われましたけどあれですか、2 番の話をして思うんですけど、総合増加しなりにですね。
0:38:41	お褒めを示す。
0:38:44	1 パック集まん重複のプレに話しますと (1) 番は、水平 2 方向に出火重複括弧 2 番はねじれが生じる括弧三番が地震力超過
0:38:56	という話を書かせていただいております。この中で、配管脅威ピッチというものに関しましては評価モデルを考えると、そもそも自身が超過しないということで、
0:39:07	整理をしております。以上です。
0:39:12	規制庁鑑別すみません
0:39:15	なかなか話が幾つもないことを思ってるんですけど、今ずっと (1) 番の話してますかね (1) 番は組合図、水平に関してビットず平和住区しないという整理を最初に言ったんで、その次の確認をしたいんですけど、
0:39:33	いいですか。(2) 番の話聞きたいんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:36	農業者して申し訳ありません。(2)番の話になりますが、そもそもね事業というものに関しても、この評価においては生じないということで結論をしております。これは何故かといいますと目尻というものがタジリ高校の
0:39:52	配管等、それはまた霜多軸方向に
0:39:57	あと水平方向の成分の地震力が加わった際に1方向からの範囲、さらにもう1報告の範囲に改定によって生じる二次医療ということで考えておりますので、三つの箇所がこれは生じないということで整理をしております。以上です。
0:40:16	規制庁間ですねそれで定ピッチの鉛直カーをいっぱいですが、そこは札幌RS-1番というふうな送受常に範囲って言って三番で営業系なんですか。
0:40:38	確かに。
0:40:41	日本原燃西山です。鉛直配管に関しましては軸直角で水平2方向の地震力が影響するかもしれないというところで(1)から(3)の方向に行きます。本資料で、水平と鉛直実際に影響軽微かっていったところで、増分の観点で確認して、
0:40:59	そこで営業経理だっというところで判断しましたので、鉛直配管に関しましては影響軽微となっております。
0:41:11	腸管ベーススポーツと水平と鉛直で苦勞の失敗が違う。
0:41:19	いうところなんですけど、
0:41:23	今言われたように、ここの資料で様々検討していただいておりますので、
0:41:31	水平の
0:41:33	増分みたいなものも、次のページ、PHITSの検証もあって、鉛直の検証もあるんですけどそこはなぜなんですけれども、今の話を多すぎAは、その括弧三番はないかな。
0:41:48	健勝延ばすなんていいと思うんですけどその辺と、
0:41:55	日本減じニシヤマで政府配管のせい配管に関しましては資料の13ページに記載しております、
0:42:13	日本原燃シミズ少々お待ちください。
0:42:26	日本原電ニシヤマ丸誠、
0:42:29	カミデさんの保守的に関しましては、配管の仕様に関しましては、P電力さんの資料参考にしておりまして、そこで水平鉛直系。
0:42:39	マーケとか分岐って言うところの項目に対して記載しておりました。
0:42:43	ただ、今このフローを見ますと、水平配管と言っているところに関しましてはそもそも重複しないって言うところで落とせるので。
0:42:54	資料としては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:43:01	記載してもなくてもいいかなというところなんですけども、はさ配管に関しましては形状で一貫性をもって説明するべきやと思いますので資料上としては入れたほうが、
0:43:12	いいと思っております。
0:43:18	規制庁カミデです。
0:43:20	資料に入れるか入れないかというのも上流でフローをお聞きした上で、その考え方に沿って説明が展開されているかというか安定見直すのであれば。
0:43:37	先ほどフローこれどっちですと言っている中でも、
0:43:44	ピッチスパンっていうのはなモデルで見るとこうなんですみたいな、すごいいっぱい説明をしないとこちに行かないみたいなものが暗に思われている伝わってA-
0:43:59	なかなかこちらが思っている2年
0:44:02	疑問に対して、答えてもらっているように川内が進まないの、
0:44:11	まずは何を考えてるのかということ
0:44:16	7ページのほうに伝わっていかんと整備室のパス券というものをどういうふうに
0:44:26	本でしたのかとその一つ一つの(イ)繋がりの中で、
0:44:33	討議っていうで分けたか。
0:44:35	いうことをちゃんと説明してもらった上で、その上で説明等をですね、補足説明が必要かどうかということ
0:44:46	含めて整理をしてもらうとか、そのときに、水平は
0:44:53	考えとしては不要なんだけど、補足的にやってますとか、そういう位置付けなのであれば関係ないんだけど、まず銀行もやっていまして、後でためやりました知見を変えてもらえれば、
0:45:09	そもそもゆめだと思うんですけど、全然してもちょっと
0:45:14	全体の整理2を考えているバックところをもうちょっとやっぱり落ちていたと考えてないか。
0:45:23	思いますので。もう少し整備を進めていこうとしています。
0:45:29	はい、日本原燃サガワです。はい、ご指摘理解してございます。先行炉さんとか事前実用炉さんで作成した資料を参考につくって行って、再処理事業所版にリバイスしていくってことで対応していました。低ピッチで移動まさにそのような対応でちょっと説明を
0:45:48	充実させないと再処理に合わないなというところとかもありましたというところですので、テーマの本当定ピッチの配管の水平鉛直っていうところと、あとは他地点というところで、ここについてどこをたどっていけばということはわかるように修正しますと、その中で、先ほど指摘ありました水平配管、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:08	結果要らないんじゃないのかっていうところに対しまして、13 ページのところのまず前段のところでもって構造上構造配置の関係建屋との関係から、ここは不要ですよっていう考えをうたってますので、それに対しまして結果を載せるか載せないかっていうのは、
0:46:24	ちょっと全体の説明踏まえた上で修正いたします。以上です。
0:46:34	はい。規制庁カミデです。整形してもタジリを7 ページのフローなんですけど、今度基本設計方針変わっ等見てみるとですね。
0:46:47	本校は地震 0001 の命令等、
0:46:52	ビヨンドをですね、水平 2 方向と鉛直の話は質問 0001、R4 のページで 200 億円 3 ページに、
0:47:06	オオオカの
0:47:09	それもちょっとできれば確認いただきたいと思うんですけど、
0:47:15	基本設計方針で進めしているのを半島、
0:47:20	この耐震B弁 10 番の 7 ページで示してございますが、言ってですね。
0:47:26	アイシンで 10 番はかなり狭い範囲の話だけしかしていないので、装填どう考えていいのかという／
0:47:38	基本設計方針／運転されないのだからちゃんと網羅的に説明してくださいっていう話を
0:47:45	④の比較
0:47:47	63 ページですか、確認いただけますか。
0:47:52	日本原燃します。手元でもって確認をしております。そのぐらいのカミデさんからいただいた御質問に対して御回答させていただいてもよろしいでしょうか。
0:48:04	すいません日本原電サガワです。ご指摘としましては、今日方針側のほうが、これも悪いところなんですけど、先行炉さんと同じような記載にして今の補足の中で、この観点っていうところで両括弧 1 の(2)医療拡散っていうところを書き下してますよねと、基本方針のほうにそれが本来書かれる
0:48:24	べきであって影響有無に関してうたうべきだっていうことは理解してますので、そこを踏まえた上で基本方針の記載について修正いたします。以上です。
0:48:37	規制庁カミデです。私の理解を作ったりすると、263 ページでこの①から始まって、①が②の姿が
0:48:52	その下の地殻水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組み合わせを考慮した発生事故時を用いて点と。
0:49:03	いうところまで市は
0:49:06	この耐震基準 10 番、7 ページを

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:10	記載になってないんじゃないものをそれ以降は抜けているんじゃないか。さらに言うと、情報更新版のプロと建物側からは影響っていうのも考えますのでの恐れがある。
0:49:27	7 ページを開いてですね、やっぱりもうすごい限定的な資料があつては、ここもクドウ装填しています。
0:49:39	日本原燃寄せられた等いくつか質問あつたので一つ一つ回答させていただきます。まず一つ目としまして、この耐震機器重量の補足説明の中で、
0:49:50	古宇川限定的になっているというところにつきましては、おっしゃる通り、まず抽出のフローまでを書いてその先の影響評価実施が 200 旅行者 263 ページの最後のひし形に該当しております。
0:50:05	その先行って、さらに
0:50:08	設計施工等を見直して評価を実施しなくちゃいけないというところが、この影響検討フローの中には抜けてございます。これについては、
0:50:18	共感をその先というところで追加をさせていただきたいと考えます。
0:50:26	もう一つですね。保険さんからの繋がりということ建物外観繋がりということになるんですが、
0:50:33	建物等の繋がりということに関しましては、まず、建物側のほうで影響検討を実施をし、その結果、綺麗な影響があるといった場合には、我々としてはその高騰を受け取って消火検討を実施するという事となっております。
0:50:51	文書の
0:50:53	そこに関しましてはこのフロー密あくまでここ一連の検討のフローというところで書いてございましたので、
0:51:00	その保険サガワの方には影響があるかないかというところはまた土建補足説明側のほうで結果までお示したいというふうに簡略されたこのフローの中には特に追加をすることは考えておりませんでした。
0:51:15	いろいろし
0:51:21	規制庁間でまず最後のPARの二つ目のほうですクドウを一部のブース県側の応答も話は別なんですよというのであれば、概要に書いてあって、
0:51:37	あとバラエティーですので、文章だけで表現できればいいんですけど、できないのであれば、を通じましてこの間の話です。ここのワーカーの値はどこ見てください。こちら明示している場合、
0:51:55	今後もキャスクもつけともうそういった形でスペインとか、
0:52:03	農業にヨシダし、今おっしゃっていただいた内容入社 3 ページの概要のところとですね、
0:52:11	右下。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:13	はい。
0:52:14	70 ページ最後の
0:52:16	4 土地建物構築物間の周辺にほぼ要求についてというところで今回書き足しをさせていただいております。
0:52:23	先ほど私のほうから説明させていただいた内容の通り届か確認された場合には来レンガでも影響を実施するというふうに
0:52:32	今現在聞かせていただいておりますが、ここがちょっとそれでわかりづらいという御指摘。
0:52:39	だと思います。
0:52:41	これこ少し見直しという
0:52:43	ことがわかりやすい。
0:52:46	記載によって考えさせていただきます。
0:52:49	以上です。
0:52:53	規制庁神戸さん先ほど温泉イノを建物マーカのオープンはこちらの資料ではシンプル電柱はやらないんですよ話なわけがないのであれば、明確にちゃんと気付おかけくださいますけど。
0:53:10	70 ページの記載で、それが網羅できているというのであれば、どうであったんのページのフローだったりも全体的にということであるのか拡充しないを説明になって、
0:53:25	みないと思って一番のせいにする幕府相違した。
0:53:32	それで、修正を考えて
0:53:37	日本原燃さんはですね、少し補足します故障という形で補足します。
0:53:42	すみません、どこに新規年中ところで、まず運航建物側の応答の関係というところで、基本方針に、
0:53:52	載せておりますフローで建物側の影響があった場合は、時連側の対応しますっていうところで落ちてきますと、そこに対しましては建物側のほうで書き込むことと機電側の項で書き込むことっていうのは、6 月時点でコメントいただいていたので、
0:54:10	3 ページのところに、まず建物側の影響検討で影響がある場合は対応しますよっていうことで書かせていただきました。具体的にじゃあ建物側で影響があるかないかっていうものこと自体につきましては、建物側の水平 2 方向の中でお示しますと、
0:54:27	そうなった場合に、例えば第 1 回でMOXのところの影響あるのであれば影響あるということで落ちてきますんでその受け口としてこの資料の 70 ページっていうところですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:43	はい。
0:54:44	で、70 ページっていうところで建物構築物からの水平方向のに 2 方向の影響についてというところで、建物側からまず部位が抽出されましてここが応答増幅してますよということになります。できれば側の対応としましては、
0:55:01	まずはその対象を生むってところで、今のMOXのほうでいきますと三次元で見ていただきますので、その応答増幅があったところに設備があるかっていう観点でまず見ます。設備があった場合には、それに対する結果ってものを、そこはどう応答に対する評価になっていきますので、
0:55:21	それはまた別資料というところで最後書かせていただいていますけども、三次元的な応答に対する機器配管系の影響検討っていうところで結果をお示しするということになります。そうなったときにカミデさんの御指摘としまして今書き足りてないのがですね。
0:55:36	建物側から落ちてきて、そこに設備が該当するかどうかという確認をしますので、そこについて確認するというのは、この資料に拡充した上で説明させていただきたいと考えてございます。以上です。
0:55:54	規制庁カミデですよっぼどはわかんないですね、70 ページの記載のエコソフト別の補足説明飛ばしていいので、一旦この耐震機器で 20 で受け取る意味の場合、
0:56:11	そう思います。
0:56:13	はい、ここを学校経営設備があるかないかを考えるんです。当施設で質問があるのかもしれないですけど、今この記載読みバグを資料は全然要らなくて、
0:56:27	海進起電耐震側のほうでこの附属説明書を申しますと、安心という中ではない別の箇所のすぐまわりますと言ってしまっって銀行そこでという耐震プレーン 10 は、
0:56:45	建物が東三っていうところ関係ないところ、
0:56:49	だけやります。
0:56:51	ここで
0:56:54	一方更新のフロー図等のその部分についてこの説明しているんですけどいうところをまあわかるんですね、概要に書いてもらう方が整理としては、要するにじゃないと思いますけど、すでにしても、
0:57:11	もう少し全体の声があるんですね、検討いただいた方はいいかと思しますので、お願いします。
0:57:20	はい、日本原燃サガワです。今ご指摘のあった内容をいろいろ整理して考えました、まさにここで受け取る必要はないなということで考えました。なぜかという、建物側から提示される応答に対して評価をやった結果を示すということで

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	あれば、この水平 2 方向でここで切れ側として言いたいことは形状の観点をとったって補足説明になってますので、
0:57:40	そこについてはちょっと受け取る意味合いというのは確かにないなんていうところでしたのでちょっと切り離す方向で建物側と調整して修正いたしますというところになります。ちょっともう 1 点補足させてください先ほど我々ちょっと少し間違った説明してましたので、ちょっと 1 点補足させてくださいそこを踏まえたと上で資料を修正しますというところですよ。
0:58:02	4 番のコメントですと先ほど定ピッチと他地点というところであのフローがどう進むのかって言うところがカミデさんから確認ありましたが、そこでちょっと定ピッチのところの説明間違ってたので再度説明させていただきますと、低ピッチにつきましては、(1)の観点です、地震力が重複税に起こる地震力
0:58:22	重複する観点っていうところで、どっかっていうところがあと水平も鉛直もどちらも重複しないっていうところになってございますそちらに進んでいくっていうことになってますんで、じゃあなんでそ次にこの地震力は重複する観点って何ですかっていったところが、あと 82 ページですね。
0:58:41	開いていただくと、当 82 ページの(1)のところを検討理由としてABCっていうところになってございます。
0:58:50	と低ピッチのそこ見ていただくというところについては水平も鉛直もし、鉛直もCというところで、水平 2 方向の地震を組み合わせても 1 方向の地震による応力と同等といえるものっていう観点でちょっと見ていくというのと、
0:59:06	重複しないって言ったところになります。各々と水平と鉛直で 1 方向と同等の能力と同等といえるっていうところはどこで説明しているかっていうと、ところと 16 ページちょっと見ていただいて、
0:59:26	116 ページのところ、同一方向の荷重の組み合わせっていうところと、本当に方向の荷重の組み合わせっていうところを見て
0:59:36	組み合わせるお薬ってところが
0:59:38	一応ここに対しては、タジリ沸騰水への弱い方向を加味しないっていったところで、あそこが時効効果になるとそこは加味しませんよっていうところになります水平 2 方向の荷重の組み合わせると、軸方向が自重と鉛直方向がきかなくなりますので、そこを加味しないっていうところになります。
0:59:57	で、これらの結果を確認したってところが 18 ページのところになってございます。
1:00:06	18 ページのところ、上の表ですね。ところが一方向の結果、北のほうの表のところ、方向の結果となっております、ここがあと上の表に当社の表を比べて

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	応力が同等となっているところになってございますので、別途影響警備 ってところでフローとしては、右側に進んで、
1:00:26	苦前局警備ってところになってございます。
1:00:29	以上です。
1:00:32	4.3 がですね今正した説明を踏まえまして先ほどカミデさんの方から御指摘あ りました。あたし TENT 低ピッチが通る道ってところをフローと説明を説明で わかるように修正したいと考えてございます。以上です。
1:00:50	はい、カミデです。今の話だとかこう、もういろいろ、
1:00:57	その応カウーン。
1:00:59	影響評価、
1:01:01	三つ目のか。
1:01:04	回ってますけど。
1:01:06	それでは、一番の判定のために何かそういう感じますのいずれにしても
1:01:15	どこでどう設置をベースとして水位評価オフ
1:01:21	ここで、
1:01:23	もう一つ最後になかったってよりはまた別途別添というか、参考資料的な 扱いでものですね。あんまり／つけてもらえばいいか、そういった形です。
1:01:43	はい、日本原燃さんがですね、資料の構成含めてちょっと検討した上で、
1:01:48	再提出いたします。以上です。
1:01:54	規制庁簡潔でそれで先ほどちょっと合併時の複合等々を基本方針のフローの 対応を再度確認しますけど、そのほど説明いただいたというのは、7 ページに も思っているのは、
1:02:12	一緒に前と地震 0001 上がるようなものがこの 53 ページのフローの④番まで を
1:02:23	訓練で記載していくんだということがですね、もう
1:02:30	どうも私は④番の話をページでしているような感じもするなってですね、その手 前なんじゃないかなと思うんですけど改めて値を確認いただきます。
1:02:41	日本原燃のシラスしっかりをちょっと今日書きっぷりが補足説明資料のほうで は少ないんですがこれ 7 ページの一番最後のひし形④番のところというもの が、
1:02:55	補足説明の 7 ページのフローで言うところの規模評価を実施するところ で我々は考えておりました。
1:03:04	最初の入札という制度ことへの影響があるかという。
1:03:08	後でうち残しますということです。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:14	規制庁噛みそうですよねあの4パビリオンバンカー一番最後の空力貯層目に、③番はここに対応してます。
1:03:26	農業の聴取、③番につきましてはこれは発生値が10年の発生築堤影響あるかというところで、
1:03:35	補足説明7ページの応力条文の観点、(3)、
1:03:39	一番振幅が立って対応しております。以上です。
1:03:53	日本原燃の水戸です。すみませんちょっと基本方針のフローとのコサクのフローで違うように見えるのですか、基本方針の音船で進んでいたときに、左側です、左側では案等、
1:04:08	向こうの影響を見なきゃいけないよっていうところで右側に行くと、あと、従来の対応でいいですっていうところところのフローになってましてそれをイトウ補足説明資料のページでは、同じように左側影響に行い興味なきゃいけないよっていうところと、
1:04:23	右側に行くと、そこはみんな営業が軽微なんで大丈夫ですって言うところを示しているの、あと、見た目はちょっと違うようには見えているんですけど、同じ内容になってございます。以上です。
1:04:38	規制庁コンビニですか。
1:04:41	資料なので、中身が同じなのであれば、だめもうなるべくおなじようについている。
1:04:55	日本原燃の仕方し、
1:04:59	社長のコメントを踏まえ、更新統一け内容は一緒ですので、
1:05:06	この二つの内容とリンクしら分かるような記載に見直すことといたします。以上です。
1:05:14	はい。静聴ですけど、また今後じっくりにするとかではなかなか言葉遣いとか同じこと言ってるの違う言葉で表現するというものをなるべくを寄せるということを思うので、ちょっと一つ一つ丁寧に
1:05:30	10/もう少しわかりやすくなるかと思う。飛行します。
1:05:39	このイシバシ町といたしました。
1:05:45	規制庁カミデです。ちょっと進もうで別途確認しますが、10ページのところへ
1:05:53	もう
1:05:57	19ページの一番下の
1:06:00	記載ですね、本傾向に対してというところがなかなか話読んでも考えていることが理解しにくいんですけど、補足いただけますか。
1:06:14	日本原燃ニシヤマで性

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:06:17	配管、低ピッチの能力としましては内圧と地震と地震応力を足し合わせたものとなっておりますと、水平 2 方向の影響って言うところに関しましては、
1:06:27	今度、地震、
1:06:29	応力
1:06:30	の寄与が大きく異なっております。その他際に、4B冷却等に関しましては、
1:06:37	水平等鉛直の加速度比の関係が大体 2.5 倍程度させます助言サービス網に書いていることをちょっと言っちゃってますけども、ここで言いたかったこととしましては、代表性成功次回以降どう示しますかっていう質問に対して、ここで、うんと分析をしましたと。そうなったときに、
1:06:55	本当鉛直と水平の加速度比がこんくらいであれば、これを代表と言えますよっていうことを言いたっていうことと書いたってというのがCになっております。ただ一部だけを超えるものがあるというときはそこは示せてことで今書いたんですけど。
1:07:11	結果としては全部示してもいいとも考えております。まずは本当今の冷却というのは代表制は、
1:07:19	ありますよっていうことを言いたくて書いたってというのが、この意味になってます。以上です。
1:07:27	規制庁カミデです。今言われた真意というところで言うと、
1:07:33	これどうするのかっていうことを聞いててね、いっぱい入ればいいんじゃない。
1:07:40	2.5 倍を超過してるのはもうお話を聞きます。
1:07:46	角形何となくね、ハセガワクドウ
1:07:49	その前段の話です。何をどう被ばくするのか。
1:07:57	企画をするんだと思うので、各設備に対して本方針を作って、
1:08:05	こういう比較できるような多分こそぞとイトウづくりの加速度だと思うのはその予定なんですけど、特にですとか、そこはやっぱ系の応募何をこちらで確認するものです。
1:08:22	心をきちんと点でいっぱいおられるまだわかるかなと思ってもう少し見ますし、
1:08:34	はい、日本原燃さんはですね 2 パラ目で言いたかったことってというのがその分析っていうところで加速度を見ればいいんだとFRSですね、見ればいいんだっていうところを言いたかったんですけどそこもっ放しになっている、いると。それに対して分析した結果でいくと、こういう比率だよっていうことで、今後どうしていくっていうところも書かれてないというところは理解しましたので、
1:08:54	今後の原燃としての対応というところまで一貫性もってどうしていくっていうところで記載いたします。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:04	それ長官です。ちなみに結構ですって言われましたけれども、そのときにどの周期に着目するんだとかそういうところも含めて、
1:09:14	もうスズキします。
1:09:18	日本原燃ニシヤMARIS承知いたしました。
1:09:26	規制庁間です。私のほうから最後に確認なんですけどその定ピッチの話で2次応力の足が出て
1:09:38	26 は、PHITSの別の手法でありますけど。
1:09:45	そうなると、改めて水平2方向とことと、
1:09:51	こういう整理だというと、
1:10:02	日本原燃西山です。
1:10:04	低ピッチの配管に関しましてはここで製品に報告形状の話をしているのでそこでなんの折川変わるかっていう話ではありません。ですので、あくまでも配管のテープ水平2方向に関しましては、
1:10:22	地震応力
1:10:23	もしくは縮小率グラフで一時から一時での比較っていったところにとどめることで考えております。
1:10:37	町です。
1:10:41	本当に説明したとアリアンツくっBP評価をしている配管を
1:10:49	その他には1次応力の評価だけでいいものもあれば取り合いがあっては皆があいかも。
1:11:00	あるんですけど、大湊池が配管に対して、次の名簿及び鉛直地震動の組み合わせをファイアストップ質問ばもう、もう一度お答えします。
1:11:21	日本原燃2社目専先ほど同じような説明になってしまうかもしれないんですけども。
1:11:27	水平2方向の費用って言うところに関しましては1次応力とか二乗力って言うところではなくてあくまでも地震に対して、重複の観点で説明するところになっておりますので、
1:11:38	2次応力の
1:11:41	近くでいけるところは、
1:11:43	いらないと思っております。
1:11:49	それと本日パワーの、
1:11:51	地震相対変位という現象に対して、
1:11:55	次系。
1:11:57	2方向鉛直支承自前のボックスのある意味ではあそこのワートと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:06	3方向生じるかもしれないけど、原因というのは必ず水平1方向鉛直で入りますという説明に聞こえたんですけど、なかなか日本として、
1:12:20	はい、日本原燃サガワですんで今うちのニシヤマ言いたかったのは言葉足らずペースでそこを補足するんですけど、カミデさんの回答にもなってごさいませんで、次に方向の目的っていうのは形状に対して適用する掛けをしないかっていうところで見えますっていうところをニシヤマい。
1:12:37	言っていました。そんなときに、定ピッチっていうところの手法に対しましては、本当加速どうであっても、変位であっても、そこは一緒ですよっていうことを言いたかったというところではあります。ただそれでカミデさんの本当かコメントに対して確定の回答だとは思ってごさいませんので、
1:12:55	ちょっと定ピッチの形状とその二乗力っていうところに対してどう考えるかっていうところ、あと他地点ですよっていうところっていうところを確認した上で別途、
1:13:05	考え方を示します。以上です。
1:13:11	規制庁神戸です。ピッチのを見ると、地上部からタテウチの使用はしていません。
1:13:20	その整理を持ってくるんだったら、
1:13:25	一時、PHITSだけ5ページのやつはピット部分はずでに報告がないんです。エイタス一遍部分は疾病のあるもので、地上でも二乗力だけ見なきゃいけないと思う。
1:13:40	こっちのフローに流します本腰をそれでそうですか。惜しいなと思ったんですけど、ちょっと考えが違うようで作りましてですね、設置。
1:14:06	日本原電ニシヤマ丸誠、
1:14:08	定ピッチとまた疾病の関係でそれをフローを踏まえて1次応力二乗力読み込むかって言ってるところは社内で検討した上で、資料に記載したいと思えます。
1:14:26	はい。
1:14:29	一番最初のほうで話をした後、ページのお話だと評価モデルに着目してやるやなしやみたいと言われていて、そういうことを考えると、うちであるものはクドウじゃないですわ。
1:14:48	まず、
1:14:49	話にもあるんだと思うのでいずれにしても全体として、
1:14:54	当行バイテック製でそういうこともあるような逃げたわけです。
1:15:02	資料として参考とし、
1:15:13	難燃お知らせしております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:16	皆さんがおっしゃった通り水平方向の返答として検討しなくちゃいけない内容というところを踏まえた記載とるように検討いたしますはいすいません日本原燃さんあれです。さっきの変位の話なんですけども、ちょっと物理的事象というところを考えていく上で整理しますというところで行きますと、
1:15:34	建屋のNS1 方向飯田高校っていうところで変位量出てきたときにそれが本当配管にどういうふうな影響を受けますかっていうところで考えると、最終的にはそこは影響しないなというところで整理していくことになるとは考えてございませすと、
1:15:49	それに対しましてちょっと先行炉さんのほう、炉側のほうでどうだったというところで、今、少し関西電力さんに確認してましたので、ちょっと炉の状況を少し補足させていただきます。
1:16:02	関西電力のほうでございませす。聞こえておりますでしょうか。
1:16:09	申すまでもありません。ええとですね、我々のその漏電がちょっと大間の議論の業況の時代にはなるんですけれども、今お話のありました。
1:16:25	建屋間相対変位についての水平 2 方向の話っていうのは、資料にも残っていないように、あまり明示的にですね資料に残した形での議論にはなっておりませんでした。それはなぜかということの間の
1:16:43	認識なんですけれども、縦側はNFBはとびあNSEWの軸に沿って敷設されていて、配管が通ったピア間を渡るときには、これも配管がそのNGだ見直そうととびあキックに沿って、
1:17:03	打たれているということを前提にしますととびあ肝臓退避というのがNS方向とEW方向にですね、実際同時に
1:17:18	発生するということが粗度へのあり方から区域外の方向に行くことということを考えると、それが無いという考え方で、これは議論をしていたということになります。すなわち、
1:17:35	NS方向の相対変位が生じるような配置なんだとすると、EW方向っていうのはそう食い違いの方向ではなくって、あの事故方向の相談員になるわけです。
1:17:51	で、この議論するとともにと水平 2 方向ということでおる 5 考える時のppt考えるような曲げ応力のイメージでいくと、NS方向に敷設されているものであれば、EW方向の相対変位、
1:18:07	BW方向に敷設されてもであれば、水素の相対変位がきいてくると、いう考え方でそこは二名だねということちょっと広い残してこなかったという意味で今許可保有議論のためを残して決まったのかなというふうにとおっております。東北としては以上でございませす。
1:18:31	規制庁かぶりです。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:34	ありがとうございます。
1:18:36	今のお話いただいたのは、その建屋間相対変位が保管スペースでワンスパンに対して、
1:18:45	1 簿をスパン以内と一緒にのものは何となくお配りをしつつ、
1:18:52	結局マイカー繋がっていく。回ってサポートを全体系で考えると、
1:19:06	3 方向の相対変位が発生しているような気がしてその辺は加速度応答の考え方と同じなんじゃないか思うんですけど、その辺もう少し説明あります。
1:19:21	家財電力のほうでございます。ここから先施工で日さなかで示したという世界の話ではないんですけど、今おっしゃったようにですねの配管の中を、すいません建屋の中を配管が両方委員に
1:19:38	付設されていて、しかもアンカー一部をトラブルに明らか区切らのは、建家にですね渡っていくってことだと今おっしゃったように三次元的に明こちらもですね方向の力を受けるといことになるんですけども、
1:19:55	日産敷設する配管を考えたときには、それなりがもうスパンで販管費がとられてそれぞれのブロックになっていくという形にはなってきますし、pptの場合ですとグーッとですね。続いていくときに、どうぞん止める方向がですね、いくつか
1:20:15	屋ですかね上がる形で取られるときにはそれもアンカー一部として、配管系としてみなすことができるので、そういう意味では赤くアンカーの中に
1:20:28	いろんな方向に建家案相対変位が起こり得るような施設っていうのはまずないもんだというふうに思っています。ですのでそのなっていますが実際の敷設の感覚というのを、
1:20:45	ネットに置いた上での、これは整理になっていきたいというふうに考えてございます。以上です。
1:20:57	規制とか見ます等、
1:21:02	稼動コーナー両建屋の判子を
1:21:06	きっかけは、それはそれで三次元的な応答が出るようなスピーディーに
1:21:16	片方の方ほうがなんか近くてもことを一考奥行きがあるっていうんで、
1:21:24	そんなにかからないのかなというイメージも普通、
1:21:28	なかなか説明いただいているということ言葉をただで相互認識をこれでいいねっていうできるのか難しい話題なんじゃないかなと思ひまして、御説明いただいたような
1:21:44	相対変位ということにしてと考えるかということを示していただいたほうがいかな、こうですけど、スペインコア底

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:58	はい、日本原燃サガワです。先ほど関西電力の野本さんから説明あった内容と物理的事象っていうところについて、先ほどその前に自分の方から資料に考え方を示しますっていう話をしてございましたので、今の考え方整理した上でお示します。以上です。
1:22:19	そして直感ですけど、よろしくお願いします。
1:22:24	私のほうからは以上です。
1:22:33	規制庁川崎です。
1:22:35	私のほうからちょっと1点だけ確認したいんですが、
1:22:39	この資料の中で4Bの指示学校はどう扱われるんでしょうか。
1:22:50	その下のイシハラ市4BのC学校についてなんですが、その下のページですね。
1:22:59	81ページの表をご覧いただきたいんですが、
1:23:08	なるほど周辺方向形状ごとに考える際に、この81ページの表の一番上に冷却塔というところで形状の原理を一つ
1:23:18	考えて作っております。その中で、冷却塔の指示がこうについても、
1:23:24	先ほど7ページのフローにのっとり影響。
1:23:27	でも判断し、ヨシダ項については影響が軽微であるというふうに判断をしているものとなっております。
1:23:34	本資料の扱いを以上となっております。
1:23:37	原子炉の考え方は以上となっております。日本原燃さんはですね今の尼崎さんの方から御指摘ありましたじゃあ冷却塔に対してどうなるんだというところで、最終的には応答軸が明確ですねっていうところで、これは影響警備っていうところの綺麗側の考え方に乗っかっていて、
1:23:54	整理してるっていうことになります。
1:23:58	以上です。
1:24:00	規制庁ハバサキです。81ページの冷却塔のほうですか、加工設備ですか。
1:24:06	日本原燃さんはですね、ちょっと中身の範囲を踏まえた中に入る前にこれの見方としまして、これの見方として本当矩形型設備っていうことと、
1:24:17	まず一番左に書かせていただいております。これに属する設備の形状という観点でいきますと、冷却塔とか学校設備とか、他の二つについても同じような形状してますよねっていうところで、グルーピングして、9番というところの設備で見ている、
1:24:35	じゃあ冷却塔はって言ったときに、高高指摘ありました支持架構については一番上の項目ということで資料まとめているっていうことになります。
1:24:46	規制庁ハツトリですから、これ自薦といいますか、最近、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:52	このキャンプ場して様々のことから、いわゆる隅柱の話なんですけども、
1:25:00	まさに市が凍ってフレーム構造を三次元の立体のフレーム構造ですので、それはちらについては、構築物系では必ず正にお言応力の鉛直の組み合わせでやるのが、これ。
1:25:15	あの辺りまでやってるんですけども、
1:25:18	投資が今回の支持架構については、それは考慮する必要がないという判断をされた。
1:25:26	そう理解すればいいんですか。
1:25:30	今後の少子まず来論を考えとしましては、ここに示してある通りなんですけど、共通ですので、提供して、その必要はないというふうに判断をしております。
1:25:43	よそ四本柱に関しますと煙が昇って考えれば、
1:25:48	そういうところあるかと思しますので、
1:25:52	そこにつきましては、
1:25:54	いや、
1:25:57	ちょっとすみません。
1:26:01	はい。日本原燃の石橋です。今ご質問いただきました後すま隅柱の件ですけれどもまずこちらちょっとまず1点かと整理二つ整備させていただきたいんですけれどもすい場所の考慮の話については、例えば建物構築物としての考え方ってところで認識しております、
1:26:19	御説明冷却塔につきましては起電設備ということもあります定期連起点の考え方として、
1:26:26	安全の柱として考慮してございますということになりますのでまず今今回のこの方針のっってまず水平2方向というところは矩形構造というところから2方向へと。
1:26:38	影響軽微というところで判断してございます。以上になります。
1:26:44	規制庁ハバサキです今の御説明ですと、予備の指示がこうで基本的には柱梁のフレーム構造を三次元のフレーム構造、建物構築物系で判断するか機電側で判断するかで、
1:27:01	正に方向と鉛直の組み合わせの対象になるならないが、
1:27:08	違ってくと。
1:27:11	機電側では評価しないって判断になったということなんです、そういうふうに理解すればいいんですか。
1:27:19	日本原燃サガワです。この機電側の全体のフローってところではそういうような判断になったんですけど、御指摘ありました冷却塔自体の構造って

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	観点で考えた場合に、この隅柱ってところに対しては、御指摘の通りだと考える側面もありますということになっております。
1:27:36	そうなった場合に、記念側の整理と建物を整理ってところが冷却と前にも少し説明した通り、本当冷却塔自体が綺麗な側面もあって、搭載される設備に対しては、時等県側の
1:27:51	設備の観点もありますということは私のほうから申しあげましたので、その隅柱に対する確認ってところにつきましては、冷却塔側のほうで、そういう確認をしますってところで補足させていただきたいと考えてございます。以上です。
1:28:10	規制庁ハバサキです結論的にはサガワさんの今の説明で理解したんですけども、
1:28:15	今回天秤にかけて監視室は支持架構も設記事機電側の所掌ですということですね、それで今防護ネットですね、予備を取り囲む出る。
1:28:30	防護ネットに関してはこれ水平 2 方向と鉛直の組み合わせはやりますって回答いただきました。それと、
1:28:39	ほぼ構造的には一緒の 4B の支持架構については対象外って最初の回配当ですと、ちょっと一貫性がないというふうにこちら考えますんですけどもちょっとそこら辺つじつまも含めてですね、今後説明のほうをしてもらいたと思いますますがよろしいでしょうか。
1:29:02	日本原燃の石橋です。今の御指摘いただきました件につきましてはですねまずはちょっと検討重ねて検討をしてバスその影響はいけるところは確認した上で、別途ここ報告させていただきたいと考えてございます。以上です。
1:29:19	規制庁浜崎です。私から以上です。
1:29:30	規制庁の武田です。その他来年中につきまして傾聴側から確認事項ございませんでしょうか。
1:29:41	それでは日本原燃のほうから本震についての修正方針について説明をお願いします。
1:29:48	はい、日本原燃さんはです。
1:29:50	終戦方針としまして、建物側からの影響というところの応答取り出してってところについては、今回ちょっとそれ書き下したんですけども目的からいきますとちょっと水平 2 方向の形状という観点からはそぐわないところがあるので、ちょっと建物側と調整した上で、別の資料って展開にしたいと考えてございますのがまず 1 点。
1:30:09	2 点目としまして配管のピッチですね、なぜフローとの関係ってところの説明が少し、少し有価か聞かせてないので、本当目で追っておっていけないと

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



	いうところなのでその修正をいたしますというところです。さらにそのフローと基本方針案のフローの言葉遣いというところも合致していません。
1:30:29	なので、そこについては整合とる方で考えたいと思います。最後に2次応力というところについては、考え方は先ほど口頭でNSEWの関係というところ述べさせていただきたいんですけども、そこを考え方本当こういうことで、不要な落葉ということで記載したいとか考えてございます。以上です。
1:30:55	規制庁の武田です。ありがとうございます。
1:30:58	では、次の資料の確認に進みます。
1:31:02	次の資料が耐震記念13ですね、こちらの資料につきまして、CAQ補足で説明する内容がありましたらお願いします。
1:31:13	はい、日本原燃サガワです。ちょっと本資料につきましてはハラダの方が説明する予定だったんですけどちょっと拾うんと修正の方向性の中で、前回ちょっと自分とコサクさんとかと議論させてもらって大きなところがありましたので、ちょっとそこだけ補足させていただいて中身やらせてくださいというところです。
1:31:32	一つ目が大きな修正としましては、先ほども少し話題に出ました支持架構というところが応答解析と応力解析というところの二つの側面があるというところでそこについては、じゃあ具を用いてどういうふうな範囲でモデル化をしているかというところをわかるように修正したというのが一つ目の
1:31:51	大きな修正でして、二つ目としましては、
1:31:56	配管に対して配管に対する風荷重と積雪荷重の扱いというところに対してね配置設計の観点から、今回は見なくていいですって考えてるところというところで、その許可と配置設計の簡便と構造というところで修正してきたというところで、
1:32:13	最終的に応力がどうなってるのっていうのは参考というところで考えた資料修正にしますと、最後に、企画、
1:32:22	をしてくださいというところがありましたのでそこは
1:32:26	補強前との比較というところで資料全般的に直してきたというのが大きな修正点になってございます。よろしく申し上げます。
1:32:37	規制庁のタケダですんでは本資料につきまして規制庁が行う確認事項ありますようお願いいたします。
1:32:46	規制庁カミデです。
1:32:51	まだもう1個をここなんですけど、20ページにグドウがあって、
1:32:59	今説明あったように違うものは利用というのは確認されたよう系
1:33:05	35ページをすると
1:33:10	中央会はもう非常に私イトウ指摘にしているのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:18	基本設計方針側との対応なんですね。
1:33:22	これについて、地震 0001 の話をすると。
1:33:30	0001-R以降っていうと、
1:33:35	75 ページに、
1:33:38	設計用床応答曲線を作成方針で不要。
1:33:45	ここ、そう。
1:33:46	そう。
1:33:48	次に両角知のR4 のほうを時振興と解析の基本方針で 221 ページに大不働は設定を
1:34:01	この要素の対応が 20 ページのフローが書かれてないように思うんですけども、この辺りサービス説明いただけますと、
1:34:28	少々お待ちください。
1:35:04	静聴カミデスパンの少し整理が右そうなので、少し確認していただいてちょっと先に他の話をしようと思いますけど、25 ページを
1:35:23	荷重の設定のところに伝えて、特に積雪荷重のところは係数が変わっているんですけど、
1:35:33	これが何でか円なぜこれでいいのかということは、説明された内容の説明ちょっともう少し、
1:35:48	日本原燃石松です。
1:35:50	今ご指摘いただきました積雪の積雪荷重の係数の変更についてですけども、こちらまず変更した経緯というところにつきましてはですね、コースページの 14 ページ。
1:36:05	のところですね、14 ページの(3)荷重条件の変更についてというところがかっこいいというところで、ええと積雪の荷重上は建築基準法に示す係数を用いたことによって変更しておりますと、いうところを書いていて推進が変更になったというところ変更になってますと、
1:36:22	一級ところで、それぞれに対する詳細につきましては、当初スペースの 22 ページ、3 ポツ 4 ポツ 2-2-AとBポツですねどころの積雪荷重というところにも、それに加えた詳細な説明も記載させていただいておりますので、
1:36:39	そこで読めるかと考えてございました。以上です。
1:36:47	静聴鑑別もともと 0.5。
1:36:50	ちょっとこれ計算をグドウそれはちょっと見ている。
1:36:57	建築基準法施行令も中身が変わったから、
1:37:05	日本原燃過ごすです。
1:37:07	その通りでござ当行認識の通りでございます。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:14	以上です。ストレナー等をもう少し丁寧に書いていて、
1:37:22	同じものを見ています。
1:37:25	昔は何年時点のものを見ていたので、0.5人で公開は最新バーを見る一方、そのケースは変わっていたのね、その当時の今の規格に合わせて、
1:37:42	こういうふうになったということであればその上でもう少し分かるように作って変更前がなぜそうだったのかとか、あんまり説明があって、ここの話ばかり書いています。その辺りについて説明を加えていただければと。
1:38:01	日本原燃千葉スペースへと今御すてきいただきました通り過去の経緯というところを示さずに今回どうなりましたっていうところまで書いてあるところだけを記載させていただいておりましたので、まず過去どういうものを見ていて、今現在どういうものを見ていたから変更になりましたというような形で修正させていただきたいと考えてございます。以上です。
1:38:24	はい、成長産業です。
1:38:28	あともう1点、資料のまとめことなんですけど。
1:38:34	うん。
1:38:39	38ページに配管の変更というのはページ1-2であると思う。
1:38:47	もう1棟。
1:38:50	冷却ポツの変更点は、
1:38:54	25ページとかをなぜこういう切り分けをしてる個よくわからないんですけど、その構成の考え方を変えています。
1:39:21	もう日本原燃石橋です。こちら、まずちょっとここの説明をさせていただきたいんですけど、20ページのフロー図のところと20ページのフロー図に記載させていただいてます通り、まずはちょっと基礎の応答を使って、
1:39:39	こういう評価をしますよって言ったら、このフロー図のところなんですけれども、ここのフロー図の中でも今回乗ってきているものっていうところをまず説明させていただいてまず今回配管というところは先ほど別のあと補足説明資料内でも説明させていただきましたけれども定ピッチ評価とかですね。
1:39:56	ちょっと評価条件がですねとかの評価内容、評価方法というところが変わってくるものもございまして、まだちょっとそこは別途漏えい等ですっていうか、別1-2というべき別の形で進めさせていただきたかったっていうところで、えっと今回分けさせていただいてますっていうところが
1:40:14	説明とございます。以上です。
1:40:21	長官です。
1:40:23	そうすると、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:26	何か別の疑念が
1:40:31	耐震
1:40:33	建物 01 の網羅性の整理表で言うと、
1:40:38	冷却棟は耐震で 13 番を作ります。
1:40:44	はい。次ます手間ない。
1:40:49	そういう意味だと損説明いい範囲で着目していくというのがば
1:40:55	耐震計算の作り方が第一部は床応答デザインは、配管、
1:41:05	Hや配管のうちの 1、
1:41:10	クドウ
1:41:11	そういった構成のほうはしていくというような感じがしますが、いかがですか。
1:41:25	少々お待ちください。
1:41:35	日本語につきましたです。ちょっと 1 点確認させていただきたいんですけども、今のご指摘っていうのは、今別紙 1-1 というところで指示がポート搭載機器の御説明をさせていただいておりまして 1-2 というところで冷却塔の配管というところで説明させていただいたんですけども、
1:41:51	こちらをどちらも設備という単位で見たときに 1-1 というところでまとめたほうがよろしいのではないのかという御指摘等回答
1:42:00	こちらこそ装置としては受けとめたんですけども、その認識でやってごさいますでしょうか。
1:42:06	規制庁かねず、私のほうにちょっと認識違うとしては、
1:42:13	羊蹄とC1-1 と 1-2 は連通
1:42:18	入金のiPhoneで別で系列なら別に有効等をどのようなので、それはそれでいっぱい溢水します。
1:42:29	どうぞ。
1:42:31	廃止しましたんですね、歩道、最初に、
1:42:35	何かお答えいただいたのは、棒状で
1:42:42	20 ページのデータが本筋バーをこう直したんですけど。
1:42:48	この 20 ページも、うちの幾つのパッカーであると思うが、
1:42:54	そういう、最初のお答えがちょっと
1:42:58	いまいちだったんで、
1:43:02	普通に並列に冷却塔淡水カクタばますですよ。それはそれで。
1:43:13	はい。
1:43:14	日本原燃の石橋です。今ご指摘いただきました件通りだと思ってございまして、ちょっと最初の私の説明の仕方っていうところが悪かったなと思ってございまして、今の

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:27	そのあとに説明させていただきました通り、は消火の方法というところが違うよっていうところで、まず分けさせていただいているというふうに可能になってございますので、
1:43:37	っていうところですね、私のちょっと説明不足で大変申しわけありません。以上です。
1:43:45	規制庁カミデです。わかりました。1-1 津波それぞれ行われますけど、
1:43:54	それで、1-25 なったのですね、
1:43:59	42 ページとかで配管の積雪値を
1:44:03	はい。どう
1:44:05	これはこれで丁寧にごういったって別に悪い話じゃないんですけど、
1:44:12	例えば 41 ページの時刻表の中で、
1:44:18	この部分っていうのは変更なしな変更なしについて、
1:44:23	やって丁寧にかけて、
1:44:26	変更あったものについて、説明がない。
1:44:33	というような
1:44:34	3 個になっていて、いわゆる
1:44:39	その意味で、今度別紙主義別紙 1-1 を見ると、
1:44:46	特段そこまで丁寧に説明もなく、
1:44:49	変更ありでもなしでも、
1:44:53	あまりで熱を行いますのと、
1:44:58	いうものを、この比較をしてさらに補足的に説明するものを、もうそういう観点でピックアップする各リングとところの補足をちょっとあわせていただいて、
1:45:16	もう少し説明すべきことはない。
1:45:19	基本的には変更ある部分っていうのは、地震荷重以外はもう少し説明がないとバランスおかしいんじゃないかなと思ってクドウ案スズキやっぱこっちの説明項目をもう少し見直していただいています。
1:45:35	そうすると、日本原燃石橋です。ちょっとこの資料の全体的に補足をさせていただきたいんですけども、まず変更点、この当庫説明資料の題名となつてございます時施設時既設工認から変更点とかそっていうところにつきましてはですね。
1:45:55	先ほどの積雪のところでもお話しさせていただきました通り、一方当時の旧 3 ページのところ所にごございます 2 ポツ変更点についてというところで、輝石設工認から変更点はすべてここに記載させていただいたっていうところで、
1:46:13	ございます。その上で

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:16	後ろの経営等ですね通す透水のページでいきますと先ほどの 20 ページあのフローのところは書いてございますところですね、彼らは変わってないところも含めて、3 ぽつ 4 ポツ 22 のところに書いて記載させていただいてございますけれども固定荷重とかですね実績設荷重どういうふうな考え方で、
1:46:36	設定をしていますというようなことも記載させていただきながら、時認可の変更点の欄と並べていったところになってございまして確かに配下のところにつきましては別紙 1-2 ですね、配管のところにつきましては確かにその
1:46:53	こちらも同様に 2 ポツのところでは既設工認からの変更点というところについては記載させていただいてるいかせていただいていたるんですけども、確かにこの、ここで固定荷重、積雪荷重、風荷重どう考えますっていうところは、4 ポツのところしか出てきてなくて今評価上等を考えてるかっていうところも何もないと。
1:47:13	ところは確かに押すあのご指摘いただいた通りだなと思いますので、そこは
1:47:19	そこに PO に記載させていただいたのを推薦させていただきたいなと考えてございます。以上です。
1:47:28	はい、長官ですと括弧別紙で損益ボックスをまあいいと思ってスポーツに 3 ぽつ 4 ぽつでそれぞれ何を書くんだったという整理をしていただいて、
1:47:42	前回いただければ。
1:47:45	します。
1:47:48	日本原燃、石橋です。承知いたしました。
1:47:55	はい、規制庁神様のこれで最初のフローの話もあっても大丈夫ですか、説明いただければと思います。
1:48:12	ちょっと持ち帰って、
1:48:33	すみませんみどり市重厚網のほうから説明させていただきます先ほど御指摘でいただきましたころの点につきましてと基本方針のほうと比較いたしました。そこに関して、
1:48:45	今通しページ 20 ページのほうですねこちらのほうで記載させていただいている上のほう、上部の所に関しましては地震応答解析、
1:48:56	の基本方針で示されている床応答曲線を算出するまでというところの
1:49:04	この部分になってございます。こちらのフローのほうですね先ほど御指摘いただきました基本方針との整合性というか、記載のトンというところもあってないというところは御指摘いただいた通りになっていると考えまして、こちらの方、
1:49:19	方針と照らし合わせた形で記載のほう拡充させていただこうかと思えます。何が不足しているかという点になるんですけどもこちらのほうへと建屋モデルっていうところの

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:30	部分を今回冷却塔の [ ] モデルにしてございまして、基礎の部分というところが上の [ ] モデルになってますんで上のほうのモデルでは床応答曲線を算出するところまでで下のところの地震応答解析と書いてある赤を含む。
1:49:48	[ ] モデルのところであえ荷重を出したりってところのやってございまして、そちらのほう方針と照らし合わせて整合をとって見直させていただきたいと考えてございます。以上です。
1:50:04	それと、盤ベース現場説明いただいたのっていうの規模を新カードを
1:50:11	税金を地震応答解析のホースを / ビジョンでいうと 227 ページ、福井わかりますし、127 か、129 加工作らが話す物、
1:50:28	すいません三菱重工網野でございます。と先ほどお話をさせていただいたところは機器配管系のところになりますので 229 ページになってございます。以上です。
1:50:44	これ長カミデスケカワ 229 ページとの対応で未収ページの
1:50:52	内容が
1:50:57	新編 1320 ページの上の部分と言われたんですと粘土部分っていうのは具体的に評価の開始からどの部分までを
1:51:10	申し訳ございません三菱重工あるのでございます。先ほどご説明させていただいた 229 ページのほうは本旨のほうに示されていない部分になってございまして、当時、
1:51:22	すいませんもう一つの設計用床応答曲線の作成方針のほうの
1:51:30	170
1:51:32	5 ページのほうがあえと本市現在所持されている 20 ページの上部の所床応答曲線を算出するところまでに該当する部分になってございます。以上です。
1:51:47	はい、規制庁カミデさんそうなのね、
1:51:51	そん 001、R5 の 75 ページに思いますけど、
1:52:01	で防災警報信号は学校
1:52:07	ここで言っている傾向設定方針側の納税のが、
1:52:12	20 ページのところにはまるかっていうのも、具体的に説明いただけますか。
1:52:21	はい。三菱重工網野でございます。先ほど申し上げました
1:52:35	契約ポート曲線の基本方針のほうで示されているもともというところがこちらの 20 ページで言うところの入力地震動というところが実施 [ ] 応答
1:52:49	[ ] というところの入力になってございましてその下の解析モデルのところが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:56	基本方針のほうでは示されていないもの、そこに後ですねした出力矢印飛んでちょっと右側のほうになるんですけども設計用床応答曲線の作成というところが
1:53:10	いう設計床応答曲線で床応答スペクトル作成というところに繋がっているというふうに考えてございます。以上です。
1:53:20	規制庁カミデです。
1:53:23	今改めて企画 75 ページの、これをおいでなバーナー層、
1:53:31	議案です。
1:53:34	評価結果開始というのは指定入力地震動があつて、それを
1:53:43	基本方針と建物構築物の評価で
1:53:49	20 ページにお液相の買付モデルモデル言い方になってますけども、これは本当解析してます。
1:53:58	いうことを言えば、
1:54:01	その下に
1:54:04	20 ページのトークそう場面設計を地震動上どう確保しつつ、弁の加速度フーリエあれそれは同じことですか。
1:54:20	三菱重工網野でございます。今、
1:54:23	おっしゃっていただいた通りのことになってございます。以上です。
1:54:32	を受けてですね、なると、括弧 1. のっていうところを対応がとれてないようですが、その点はですね。
1:54:47	三菱の網野です。基本方針のほうに示されている各質点と言っているところは他市点はりモデルのところを意図して作成されたものというふうに考えてございましてこちらのほうは支店っていうところが、
1:55:03	図のほう解析モデルというところに示しているところに示しているところの疾病というところになってございますので対応としては問題ないというふうに考えてございます。以上です。
1:55:18	規制庁カミデです。20 ページの毀損をメイン設計用地震動というのがよくわからない。これ鉄塔そのものを公開責任持っているの。
1:55:32	に示してある各質点すべてに
1:55:38	それで、時刻歴応答だしということで、
1:55:50	及び進捗雨のでございますとこちらの図のほうですねと評価に用いるというところで考えますと、計画と自体は時その上限に座って据えつけられておりますので③番のところの応答っていうところを取り出して用いているというふうになってございます。以上です。
1:56:12	カミデ進めて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:56:18	なぜそれでいいのかっていうのが横に応答解析モデルを上にもスズキ弁がある。
1:56:26	基礎上だけでいいという理由がよくわからないつグドウ引火を
1:56:36	三菱旅行網野でございます。こちらのほうですね上部の所先ほどおっしゃっていただいたところの上のところにも指定があってということなんですけれども、こちらのほうは冷却棟全体というところで撮るとき運転と当期QCというそれぞれの
1:56:54	構造物っていうのを表示して表示してございまして、それらを踏まえて時その応答っていうところが出てきますので、その基礎の応答っていうところを取り出してその後、
1:57:07	下のほうに書いてある地震応答解析の入力とするべき荷重た
1:57:14	地震度っていうところを算出するというのを目的としたモデルになってございまして、地表面というところの③というところでもいいというふうに考えてございまして。以上です。
1:57:27	はい、生協カミデですね、
1:57:31	もう赤枠より外の部分っていうのは終わりとして吸込弁使って報告する。
1:57:39	同じように、それはそれで良い
1:57:47	気相部は面積の地震の算出したの支援を公開する。
1:57:54	これは、
1:57:55	環境設計をするということになる。
1:58:06	Ⅱ種、網野でございます。こちらの方から地震応答解析の景観方針の229ページいき配管系の地震応答解析の手順に該当するというふうに考えてございまして。以上です。
1:58:35	規制庁歓迎すばの
1:58:38	方向がどう対応しているのか。
1:58:43	わからない。
1:58:49	もう少し説明いただけますと約29ページのと、
1:58:54	スパイ設計をして件数ベース設けるのがあって、
1:58:58	前年その辺りが全然
1:59:02	見えない。
1:59:11	すいません三菱重工網野です。すいません言葉が足りてございませんでした。229ページのほうですねこちらのほうへ、堆積モデルせえ等をまず基本方針のほうでは耐震Sクラス設備と設備の紹介から入ってございましてその値解析モデルの設定となっております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:28	それに引き続きまして有地解析というところから地震応答解析というふうな流れになっておりましてその途中で減衰定数が入ってるというところになっております。一方 20 ページのほうですね、ここの地震応答解析というところの中に解析モデル固有値解析というところと、もう一つの地震応答
1:59:48	解析というところまでを 1 まとめにして書いてございまして、この辺が記載が足りないというふうに考えた場所になってございます。こちらのところですねこれを踏まえて出てくるものというところから考えて同等加速度であったりこの下に動力解析っていうところが書かれてござい
2:00:08	ますがこれが
2:00:11	フローA、
2:00:13	地震応答解析の基本方針理由左側のところであったり、右側のところの下のところでアウトプットとして矢印の一番先端に位置するものになっていると考えてございます。以上です。
2:00:29	ですので、今■■■■の地震応答解析コードのアウトプットで、または最大有効増加速度を出してございまして、もうそれは、
2:00:44	その辺も待ち時間を東西も耐震Sクラス設備一旦このフローをは等の
2:01:01	それ心配ので少々お待ちください。
2:01:11	三菱重工網野でございますとこちらのほうの先というところに関してはイトウ基本方針のほうでは示されてございませんで、
2:01:20	られた観測どうであったり、荷重というところから応力評価であったり機能維持評価というところを行っていくというところになってございますのでフローの中では示されていないものになってございます。以上です。
2:01:38	規制庁かベースとクドウに何を書いてあるとか言ってご覧。
2:01:43	検討方法設計方針っていうのは、本耐震する設備全体に対して、こういうことでありますと言っているんですけど。
2:01:52	支持学校搭載いいはここに書いてませんというのが網羅的で内容を非常に／5、
2:02:04	その辺等考えられるのか御説明いただけますか。
2:02:35	日本原燃一番施設少々お待ちください。
2:03:30	日本原燃府中ただいまの御指摘につきましてはまず応力計算を別途耐震計算書のほうの繋がりとしましては、まずこの本基本方針でのフローで応力まで算定しますと、
2:03:45	それを

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:48	今後お出しさせていただきますけども、耐震計算書の作成の基本方針といったところで、じゃあどういう計算をして計算書にまとめるかというところをまず基本方針としてお出しさせていただきます。
2:04:03	また機能維持のほうにつきましては、これの
2:04:09	繋がりでですね、
2:04:12	添付書類 4 の 1-1 からぶら下がる機能維持の基本方針、そちらのほうで機能維持の評価は手法ってところをお示しておりますので、当地震応答解析における基本方針のフローとしましてはぞまで
2:04:30	もう示した上で、その繋がりとして残り二つの基本方針のほうで耐震計算表を作成していくという流れになっております。以上です。
2:04:46	規制庁紙スパの今のお話だともう国会でもクドウ。
2:04:53	ちょっとこの資料ファイル等、
2:04:57	ちょっと話しますけど議 20 ページのフローの右側で僥曲酸素続いて地震応力解析する。
2:05:07	こんなの部分について、本方針と
2:06:11	日本原燃一番施設所掌お持ちください。
2:07:05	日本原燃石橋です。当町お待たせいたしました。ちょっとここ、こちらなんですけれども、まずちょっと 1 点整理させていただきたいのは一体スキーム等を整理させていただきたいことがございまして、今うちのキクチの方からですね、御説明させていただきますか、流れというところなんですけれども、
2:07:25	もともと開始と今、第 1 節コニシ製のほうでお渡した耐震計算書というところは、まず
2:07:33	評価の応力解析の結果というところを御説明させていただいているものになってございましてその仮定というところもこの耐震基準 13 番とかとかですね耐震計算書の中にもですね登場してございまして、そこの中身ってところが耐震計算書であったりとかこの補足説明資料の中で説明させていただいて、
2:07:53	それ以前のところっていうところは基本的には基本方針の中で説明するような構成となつてございまして、ただ冷却塔につきましてはこれ以前あったうちのサーバーの方から話させていただいたんですけれども、低極東っていうもこのリーク等の設備というところは
2:08:10	二つの面がございまして、建物という面等機器という部分というものが二つございましていうところが御説明させていただいたんですけれども、今回、冷却塔特殊で、この建物の面と機器でも面というところがありますので、ちょっと一部通勤方向性に記載させていただいている地震応答解析、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:28	ここであれば基本方針のフィックスさせていただきたいところだったんですけども、こちらの個目事象と解析する右するというものもあるということもありません。今回とくベター等、これだけちょっと特別に御説明をさせていただいてるところになりますので、
2:08:46	。
2:08:47	ここに事象と解析の中身が出てきてしまっていると。ただ、本来であれば事象東海さんの基本方針の中で説明させていただいて当事者がよく解析の中身とかです。あと結果というところの詳細について本来であれば説明できればよかったですけれどもこの説明は特殊というところもありまして出てきてしまったと。
2:09:07	いうところになってございます。以上です。
2:09:14	規制庁さんですと冷却塔は確かに動くようなもので、それ自体はSクラス設備でありつつも、そうしているスタンスに施設の間接支持機能も空にも持ち合わせているというものを
2:09:31	はあって、整理が難しいところではあるんですけど、
2:09:38	それにしても、ホース設計方針に従ってway方向始末てもらわなくて、この整合性点は、本来であれば、ではなくて絶対とらなきゃいけない。
2:09:50	いえ、
2:09:54	何というか全く新しいクドウを痕跡ホース作りスギモト合併の説明は正しい設計をしていけば、
2:10:06	この部分、例えば
2:10:11	真ん中の地震応答解析から指示が口頭責任能力評価みたいなものは、
2:10:17	機器配管系の地震応答アイスUO2 回に続いているようなイメージで説明できないんじゃないかという気もするんですけど。
2:10:29	いずれにしても、希望方針のフローをちゃんとこれを版で直すとか、その必要がないのであれば、今この起動がもう防止としてこういう形で合致してますというのを
2:10:46	説明いただく必要があって、
2:10:49	そういう意味だと 39 ページに地絡の話は進んでますけど、そういうイメージでファンドを押す保護っていう説明いただければと思いますが、
2:11:04	この辺は実際持つと。
2:11:08	日本原燃の石橋です。
2:11:10	今の御指摘いただきました件ですけども、まずは修正させていただきます。そんな修正方法と方針としましては今時約 35 ページ 36 ページと下がって 37

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ページでもですねえと弱との比較というところをさせていただいてございますけれどもこの中に
2:11:28	3秒みたいな形で基本方針も踏まえて、
2:11:33	どこの位置するのかっていうところを見せるか、あとは20ページのところに基本方針とのひもつけを記載するかはちょっとこれから検討はさせていただきますけれどもどちらにせよ基本方針との位置付けがわかるような形で、資料を修正させていただきます。以上です。
2:11:55	規制庁カミデです。まあ整理の件はやっぱしまして、ちょっと中身を確認したいんですけど、
2:12:04	■■■■で地震応答■■■■による信用をFRSによる地震応力解析をそれぞれ実施したというふうに理由が横からの
2:12:17	地震応答解析してるのであれば、その結果だめ見れば良いと思うしさというのも思うん思うのですね。また、基礎上の
2:12:32	基礎上の地震動でいいのか、支持架構しかやってなくて搭載機器は、地震応答解析ばいいんです。根部せないんですけど、基礎上だけでいいのかっていうところも疑問を持ってますけども、班員変わってるかな、なぜこういう分け方として使って、
2:13:29	日本原燃、石橋です。まず支持架構の地震応力解析につきましてはまずFRSで評価をさせていただいてございます地震応答解析がなぜ■■■■かというところなんですけれども、まず/Sであれば、隻作成の設計ファイル設計床応答曲線の作成方針で、
2:13:49	御説明させていただいております通ります拡幅処理というようなホスティング姿勢も持たせた、当協会という工程曲線の作成をしてございますと、フェーズ1本を時時刻01と地震応答解析の■■■■であればまず■■■■入れてちゃんとした拡幅もし拡幅されていない状態。
2:14:09	お名前もあつたりというような性格の辺りを取り出したかったと各システムの加速度ですね、基金の評価に使う核かつての加速度っていうものを正規の値をとったかったとっていうところがございましてええと■■■■ハラダの評価っていうところで地震応答解析をさせていただいてございます。
2:14:28	以上です。
2:14:32	評価です。何となく
2:14:36	やっぱり切り合い関係としての機能等を間接支持としての側面というのは、配管系の側面で着目すると、
2:14:52	有効音声でやるのふさわしくあろうまた系結婚方針が進むというものでもあるんですけど、地震後に関節収支の面に着目する等、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:07	きちんとワークスタイルをここで 15 億解析をして出してっていう説明
2:15:17	いやあれば、
2:15:19	っていう感じもするので、その辺もあわせてクドウを整理するとともに、こういう考えでこうしましたし、技術的な妥当性ですね、ちゃんと説明に入れて、
2:15:37	ちゃんと説明してもらるように、
2:15:40	お願いします。
2:15:42	日本原燃の石橋です。今の御質問いただきました件ですけれども修正方針としましては今そのなんぼ使い分けしているとかですね土佐ツリーモデルにしているというようなところも踏まえてですね、技術的なところから後はどういうふうな形で基本方針になっているのかというような形も踏まえて、
2:16:01	次、敏彦のフロー図のほうは修正させていただきます。以上です。
2:16:10	ウエスその上で 36 ページで違うのフローとパワー年末程度これも
2:16:19	当初見たときはやはりおスケカワな例えば 35 ページだとおんなじ 2 極高温に当社囲むように／機器の設計本数がまざってるんだということなんですから、上関ほどの
2:16:35	両方の側面っていう意味でメリットをこれはこれでそうなのかという感じもしますので、きちんと説明をしてですが、なぜこうなっているということを説明して適合していると。
2:16:50	いう形にしてくださいね。
2:16:52	特に 37 ページの中身を
2:16:56	その前もそうですけど、何となく一緒のところを抜き出しましたというふうに見えるんですが、体系的にアピールをしてある体験の中のうちいろんなたまたま自分の設計方針としながら、一緒です言われているような気もしてしまっただ。
2:17:13	証券そうならないように、ツイッターの考え方を記載して説明するのです。
2:17:23	日本原子炉施設承知いたしました。
2:17:30	規制庁カミデです。新規で 13 については、私のほうからは、小、
2:17:38	規制庁ハバサキです。今カミデの方からですね 20 ページのフローを中心に基本方針との対応について確認ができたんですがちょっと私のほうから、
2:17:50	この事業の目的ある既設工認との比較変更点、それから実際どういう流れになっているのかについてちょっと何点か確認したいと思います。
2:18:01	今回解析モデル耐震解析モデルの変更ということで 19 ページのほうに図を形で説明があつて、20 ページのほうのフローに行つて、いわゆる ■■■ のフレームモデルのところを既設工認では、
2:18:19	当施設工認のモデルで評価をしていました、まずその理解でいいですか。
2:18:34	日本原燃の石松です。この認識の通りでございます。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:18:37	規制庁川崎です。
2:18:39	そうすると既設工認の場合に、
2:18:42	規制基礎の応答解析モデルのところ解析モデルで出てますけども、ここではどういうモデルが使われてたのか或いは使われてなかったのか説明してください。
2:18:59	はい。
2:19:00	日本原燃の石橋です。今ポスターの御質問いただきました基礎も解析モデルですけれどもとこ 20 ページのフロー図のところに統合を記載させていただいております。モデル等と同様のもの
2:19:19	。
2:19:20	そしてお持ちください。
2:19:39	日本原燃の石橋です。お待たせいたしました。人パッカーと既設工認時でもですね規制庁であればですね時 20 ページのフロー図の応答解析モデルのところに記載させていただいているこの ■■■ の同様のモデルを使用させていただいております。以上です。
2:19:57	規制庁浜崎です。
2:19:59	それを応答解析を使ってモデルで、そういう意味では、今回自主基礎の応答解析モデルは変更がないから 19 ページにはその説明がないという理解でいいわけですねそうしますと、
2:20:15	日本原燃の石橋です。ご認識の通りでございます。以上です。
2:20:20	規制庁ハバサキです。
2:20:21	その応答解析モデルから先ほど話があった場面の気相は面の地震動算出ということなんですけども、基礎の応答解析モデルの
2:20:36	上部の地上部の質点の応答は、ここではもう使わないという理解でいいですか。
2:20:51	日本原燃坪内でございます。今ご質問至るの御質問いただきましたこのフロー図でいうモデルが一番と 2 番ってところの通す点の応答ですけれどもこちらのほうは使用してございません。以上です。
2:21:05	規制庁浜崎です。わかりました。
2:21:08	これ建物構築物系ではこの市ってのを作っているができたんで、ちょっと確認したかったということです。それでわかりました気層の基礎上の接点の支店の時刻歴上げた等と解析結果を用いて、下のほうに流れて、
2:21:28	■■■■ に入力をして地震応答解析を行うということで、そうするとそれは全 13% 人青戸解析をフレームに対して行うということによろしいのか、それとあと右側に行って、設計用床応答曲線、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:46	これについても当然 13/分のFRSを作成するというのでいいんでしょうか。
2:21:59	はい。
2:22:00	本文に示してございます。ご認識の通りになってございます。つったらそのかわりですね床応答曲線のほうにつきましては 13 分包絡を包絡した絵と見直し使用させていただきまして評価を実施してございます。以上です。
2:22:14	規制庁ハバサキですわかりました呼ばれ数でそこで一気に貸切数が減るっていう形になるわけですね。そうしますと、
2:22:23	右側の流れの中の地震応力解析は、その包絡に対して
2:22:31	ご了解阿蘇の荷重に対して応力解析を行っているという理解になりますかそれでもいいですか。
2:22:38	日本原燃の石橋です。この認識の通りでございます。以上です。規制庁ハバサキですわかりましただんだんと終わって来ました。
2:22:46	そうしますとですね
2:22:50	一方その真ん中のフレームの地震応答解析これ [REDACTED] でやられているということなんですけれども、まず、基礎の応答解析モデルに空孔受け渡してフレームのほういってるんですけど、基本的にこれ浮き上がりに関しての部材に関しても全部線形応答だった。
2:23:11	それ点にSsについても線形応答だった、そういう理解でいいですか。
2:23:26	していただければ、日本原燃の石橋でございます。まず 1 点目の御質問としまして線形かという御質問につきましては 1000Kですというところになってございましてまずて次に 2 点目の質問としてまず 1 点にはこれでやってといっぺんにも見ているのかという御質問につきましては今回冷却塔というところがですね 1.2Ss対象外となって、
2:23:46	ございますので、1.2 の評価は実施してございません。以上です。
2:23:53	規制庁ハバサキですすいませんちょっと一件に関して言うとあれ 22 ページの地震荷重のところに、
2:24:00	1.2Ssって書いてあるんですが、
2:24:04	1.2 はやってない。
2:24:06	ちょっと意味がわかんなかったんですか。
2:24:14	人組示してございます。すいません。こちらの大変申し訳ございません確かにこのちいポツの地震課長のところではですね 1.2Ssという記載がありますけれども、こちらちょっと 1.2ZPAのことを記載させていただきたくてですね。
2:24:30	いただきたいと思うんですけどもちょっとこちら個人でちょっと 1.2Ssと記載させていただいてしまったのですかね、こちらのほうが正しい、適切に修正させていただきます。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:24:41	規制庁浜崎です。これSクラス機器ということで 1.2Ssの評価が必要なんです が今は 1.2ZPA。
2:24:50	aでやられてるということで、今の説明はこちらのほう、了解しました了解とい いますか聞きました。
2:24:57	あと先ほどちょっと線型だっというのは、浮き上がりに関してもせんけどとい うことでよろしい。
2:25:04	ですねそうすると
2:25:11	日本原燃しまして設定へと今の浮き上がりにつきましてはですねまず基礎を 起訴ボルトというプロジェクトはですね基礎ボルトで固定されてございます。基 礎ボルトの健全性を確認してございますので、その浮き上がりというところは 見てございません。
2:25:28	そうですね生じませんというところですかですね先ほどちょっとお話ありまし た。いっぺんに進むの話になるんですけれども、今ちょっと私の時期末調べな ければSクラス設備自体に1点において実施するというようななかったからの お話をされたことなんですけど。
2:25:47	1.2Ssという評価につきましては重大事故に使用するってということ。
2:25:53	設備について、実施する評価となつてございますので、冷却塔というところを作 ら設備ではございますが、重大事故の応答で使用する設備となつてございま せんので、こちら 1.2 対象外となつてございます。以上です。
2:26:08	規制庁の岡崎です。すいません理解しまして、22 ページの 1.2Ss地体構造課 長施設見て形で頭に入っちゃってましたので、これは対象外ということで理解 しました。
2:26:19	あとですね 20 ページのフローの地震応答解析真ん中の流れの絵とこのフレ ームモデルについては、このモデルの諸元とか音結果なんか嘘等々の情報に ついては今後、
2:26:35	確かあの応答計算書の中で説明があるというふうに理解しておけばよろしい でしょうか。
2:27:00	日本原燃しますって想定とご認識の通りでございます。以上です。
2:27:05	規制庁浜崎です。わかりました。
2:27:09	一応 20 ページのフローに関しては今の時点では異常なんですけども、ちょっ と先ほど来から話があったように、ここはある意味ポイントになりますんです ね、もう少し丁寧にしっかりと説明のほうをお願いしたいと思います。
2:27:25	それでちょっと次のすいません。はい。すいません。規制庁カミデです。ちょっ と 20 ページを追加でこうしたんですけど、真ん中の■■■■で地震応答解析を やって最大応答加速度もこれがレンズ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:27:43	いうのも、やっぱり
2:27:47	意見加工の各階層の応答判定取り出してますっていうことを
2:27:52	これで基礎の応答解析モデルで、
2:27:55	出てくるアウトプットはもう設計に使えるものが取得できる一方多いんですが、
2:28:02	わざわざ■■■■で再度応答解析するという意味ですか。
2:28:18	少々お待ちください。
2:28:31	日本原燃川です。今のカミデさんの御指摘に対してはまさにおっしゃる通りになってございまして、今のこのフローの真ん中にあるものと上側のところで、本当荷重って意味ではそこを同じように出そうと思ってますと、この質問に対しましては前回少し話をしたんですけども。
2:28:48	1. で応答取り出したときの反力と床応答というのが少し大きくてですね。そうなったときに基礎、基礎のボルトに対する影響というところがちょっと大きいなんていうところがあったのでより精緻な応答を取り出したっていうところで、実機を模擬してあげてⅢで各槽のところ、各指定の
2:29:08	ところを取り出しまして評価をやったっていうのが背景になってございます。以上です。
2:29:16	規制庁カミデです。今の基礎のお話をされました質問を、は、
2:29:22	地震応力解析のほうへ行くんで、右側の話だと思う。それから北側の真ん中の地震応答解析作りをもうちょっと説明いただけますか。
2:29:39	はい、いいんでサガワですので、すいません自分のお話で応力解析のほうにいつちゃって申し訳ないです。同じように、この真ん中のところの応答解析のところも設置されている搭載機器に対してより精緻なZPAを見ていきたいっていうところと同じⅢのモデルで応答取り出して見ていったっていうのが背景になってございます。以上です。
2:30:06	規制庁カミデです。
2:30:10	そういう意味で、長。
2:30:15	最初の基礎の応答解析モデルも■■■■であれば金申しますけれども、その辺はいかがですか。
2:30:39	当面のイシバシです。今
2:30:43	どうも話基礎の受注基礎の応答解析モデルにつきましてはもともとこちらについては今うちのサガワの方からお話させていただきます通り時つつ厳しいちょっと結果が出ていることが出ていたというところでⅢにはしているんですけどももともと規制のところっていうのが、と厳しい結果が得られていなくて、
2:31:02	時認可をそのまま踏襲したというところになってございまして、
2:31:06	以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:31:11	はい、手帳核熱何となく違和感があるところなので、そういうところも含めて説明いただければと思うんですし。
2:31:22	ことを加えてですね、
2:31:25	広報信号の話に戻りますけど、床応答曲線の作成方針を
2:31:36	地震 0001 関わる工程、
2:31:39	超えて 206 ページとか埋まるよう
2:31:44	ここに書いてある話全体的基礎の応答解析モデルの
2:31:49	お話をされているんだと思っていたの。
2:31:56	支持格好に使う。
2:31:59	ただ速度っていうのは、今回たまたまZPAだからこうだったら静的だけでも、DBのモデルを使って、
2:32:08	ということなので、そのあとに、ちゃんと何に対してどのモデルを使ったかは、
2:32:15	それから応答曲線の作成方針の中にちゃんと記載した方がお寿司
2:32:23	あと、
2:32:27	終わりつつも、
2:32:29	全部つってもね、それも多分基礎の応答解析モデルを我々想定してんつくれるんだとする等、使わないように、
2:32:39	なぜの手元という感じがして乗ってダメというわけではないんですけど。
2:32:46	ちょっと今のほうを曲線測定法しもうたが実際やっていることをちゃんと整合してばかりないなっていう感じもするので、この点もあわせて進めました。
2:33:00	日本原燃キクチですとか今御指摘いただいた基本方針のほうですね、こちらを設計応答曲線を算定すると思うモデルなりっていうところで、あと、適正に修正します。以上です。
2:33:26	カミデつの私のほうからは以上です。
2:33:30	規制庁ハバサキです。続きでいてですね、あと2点ほどなんですけれども22ページ、先ほども話が出た地震荷重Sの話なんですけれどもこれSDとカー静的地震力とかについても検討されている。
2:33:47	されないでしょうか。
2:34:05	日本原燃島施設へと今ご指摘いただきましたSTですけどもST静的につきましては評価をさせていただきますが、見ていただここにちょっと絵と記載してございませんでしたのでそれもわかるような形で修正させていただきます。以上です。
2:34:21	はい。
2:34:22	規制庁ハバサキです。技術基準適合上、それは必要な事項ですので記載のほうも漏れなくお願いしたいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:34:31	最後なんですけど 23 ページの一番上の 3.5. 1 のところですね、解析モデルの妥当性ということで説明文があるんですけども、
2:34:44	詳細なモデル化をしたから、妥当たというふうに皆主義になってるかと思うんですけども、普通モデルの妥当性で例えば建家でも何でも■■■■のFEMモデルを他の作りましたから妥当ですとは言わなくて、
2:35:00	それで使命シオン解析をするなり、実験と比較をするなりですねそれをもって妥当性を評価しましたということになるんですけども、今、今回、このモデルに関しては何かそういう妥当性を検証するようなことってというのはされているのでしょうか。
2:35:29	三菱重工網野でございます。今ご指摘いただいた丁寧ですね、解析コードというところが今回使っているものというのが■■■■と汎用的なコードで変わってございまして、それに対してと実際、
2:35:42	の設備の設計に基づいた構造寸法で主要部材というところをモデル化してございますのでそれらで妥当であるというふうに考えてございます。以上です。
2:35:57	規制庁ハバサキです。ちょっと繰り返しになるんですけども、コードの話もなんですけども、
2:36:05	設計図にのっとっては詳細にモデル化しただけでは先ほど言ったように、それはせえっとその通りに作ったというだけであって妥当性を検証したということにはならないんで、今の話ですと、特に
2:36:22	今回■■■■のモデルにして何か実際の指名シオンしたとかそういうことはやってないというふうに聞こえたんですが、そういう理解でいいですか。
2:36:46	少々お待ちください。
2:38:12	日本原燃につきまして数を大変お待たせいたしました。まず、ちょっとこの端部の評価自体等のためにですね
2:38:20	一つ計算というものはですね、下水ないんですけどもただ簡易的な手計算ベースの経済性と応答と／模擬的な応力解析の結果と実際にこのⅢモデルを揺らしてみた結果っていうところの比較っていうところは実際にしてまして。
2:38:38	それで妥当性については確認をしていると。
2:38:41	いうところでございます。以上です。
2:38:44	景気ハバサキです。専攻の実用炉の例なんか見ていただくとわかると思うんですけども、結構Sクラス設計のモデルの変更って、いろいろ検証が確保されてましてですねそこはやはり、
2:38:59	慎重にといいますか丁寧に妥当性の説明等についてもですね、気を配ってもらいたいというふうに思います。今言われたようなやり方でも所は事業者の方でですね判断してもらえればと思いますけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:39:15	やはりちょっと公文書サンプ作業の部署だけであっても、ちょっとこちらは認められないんですね、ちょっと検討をしてください。私から言うと、
2:39:25	はい、日本原燃サガワです。今の書き方っていうところなんですけども、裏ではいろいろやってますというところで、ここの今のとらえ方のとこだったんですけど、一番イノが加振試験等の結果というところになるんですけどそこまではやってませんっていうところになりますですね、なぜそこまでやってないかっていうと、国からの実績っていうところと先ほどちょっと三菱さんから話があった汎用コード
2:39:45	っていうところでそこで、あとは日程のモデルとスピーディーなモデルというものはどのメーカーさんのほうで保有してますので、その振動モードを見た上で確認してるっていうのは設計的な確認をしてますので、それらについて妥当性だと妥当であるというところの根拠をここに書きたいと思います以上です。
2:40:04	規制庁ハバサキです。今言われたような内容でもちょっとこちらのほうで確認しますけれどもですね、ある意味、十分だというふうに思いますのでですね、しっかりそこはどうしてください。以上です。
2:40:19	日本原燃サガワで承知いたしました。
2:40:31	規制庁の武田です。その後規制庁側からございますでしょうか。
2:40:39	よろしいでしょうか、よろしければですねちょっと時間がヒアリング時間が長くなってしまいますので一旦休憩を入れたいと思います。
2:40:49	今 14 分ですので、16 時半再開でよろしいでしょうか。日本原燃いかがですか。
2:40:57	日本原燃大丈夫です。
2:40:59	はい、承知しました。一旦録音を止めます。
0:00:02	原子力規制庁の武田です。それではヒアリングのほう再開したいと思います。
0:00:08	次に確認する資料は耐震記念 14 になります。それでは本震につきまして補足で説明する内容がありました日本原燃のほうからお願いします。
0:00:20	はい、日本原燃ハラダです。それでは耐新規で 14 番ですね、R-2 になります。8 月 24 日提出の資料になります。
0:00:29	こちらのほうですけれども、前回のコメント範囲としましては動的機能維持が評価に使う機器は一体どういうものがあるのか、全体像を指名したほうがいいのかというのが大きなコメントでございました。
0:00:48	それを反映したのが本部のほうですね、3 ページ名
0:00:52	に横形ポンプとか電動機とか何とか 0 時非常用ディーゼル発電機とこういった機器が対象となり抽出量というのを明示的に示したと。
0:01:04	というのが大きなところでございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:08	こちらからは以上になります。ご確認の方よろしく申し上げます。
0:01:14	規制庁の武田です。ありがとうございます。それでは本州につきまして、規制庁側から確認事項がありましたら申し上げます。
0:01:25	規制庁カミデです。
0:01:28	今説明いただいたように、
0:01:33	どんなものがあるかということもポイントA、
0:01:39	選んだ結果のようなものは3ページに、
0:01:43	はい、わかるの。
0:01:45	どういう考え方でやったんですか。
0:01:48	それによって網羅的に抽出でやったんですかって言うことは、
0:01:53	本当だと思うんですけど、その点が説明されていないので、まずは説明しますと、
0:02:05	はい、スケカワです。まず、ここにすみません再処理施設で使用されます。当基金というものの中で動的機能が要求されるものっていうのはまず確認いたしました。そちらにつきまして確認したところ現在書かせていただいている九州別というところで、これについては
0:02:23	対比させ、基本方針側の系統機能維持の基本方針のほうにもその種別というのを記載させていただいております。かつ前回の御質問のありました。Steamレット踏査習得いる機器につきましては、それ自体には動的機能ございませんので静的機器として、
0:02:39	整理しておりますして今回は静的キクチになっておりますので、こういう機会も手術中に入っていないところになってございます。
0:02:53	規制庁カミデです。
0:02:56	結果だけこうだったので、どうやって確認したんですかということキシノつもりなんですけど、その結果をここにも書いてあります。話だけで、
0:03:06	よくわからなかったんですけど、ちょっとやってこれをです。
0:03:11	抽出したかってもうちょっと説明いただけますと、
0:03:32	日本原燃9注水等々の機能の対象としましては、まず今の間、例えばその規格基準で要求があるものっていうところで、再処理施設でいきますと、Sクラスの設備に対してトーマツ
0:03:50	その機能を維持するために必要であれば、動的機能が要求されるところになっておりますので、そこを今の共通00の中でですね、の中で網羅的に設備の抽出っていうところをやった上で、該当する機種として、
0:04:06	何があるかっていうところを今、資料の中で記載させていただいておりますので、ひとつ五、六点の関係がわかるような形でちょっと記載は見直しをさせて

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	<p>いただくっていうところと、あと先ほどスチームジェットのところの一つスケカワのほうから、</p>
0:04:22	<p>お話をさせていただきましたけれどもスチームジェット自体は静的な機器になってまして、スチームジェットとしての溶液を移送する機能っていうところを</p>
0:04:36	<p>なんですかね、機能を有効にするために、クドウ用の弁ですとか、っていうところで、動的な機能が要求されてますので、そういった識別をした上で、今ここに対象として記載をさせていただいております。以上です。</p>
0:04:55	<p>規制庁コンビニさん共通0届け出整理と言われて、この後にはそれがわかるような話だ。</p>
0:05:06	<p>何をこの資料に置くかっていうのはいまいちイメージを掴みたいんですけど、共通性を0ピッチは、</p>
0:05:13	<p>何の話なんですけど、09になるんですけど、ちょっとわからないんです。</p>
0:05:19	<p>日本原燃キクチ注水とまずは別紙2のほうで</p>
0:05:24	<p>今、耐震設計の基本方針、</p>
0:05:27	<p>はい。</p>
0:05:28	<p>一つ持ち帰って、</p>
0:06:12	<p>日本原燃規制数千万戦闘まずその別紙ランタン度っていうところの前に、今のこの補足説明資料の中で、じゃあ何が動的機能の対象とすべきかっていうところの考えをきちんとお示しさせていただきたいと考えております。以上です。</p>
0:06:34	<p>規制庁混入するこういうやり方をするとはいってものを、</p>
0:06:41	<p>説明いただきたいんですけど。</p>
0:06:47	<p>この資料でいうと、ページ目の4ポツ、cの心はすごく場所にはなっているのがするんですけど、まだ本店違う部分もかなりスパンのIPA</p>
0:07:04	<p>当地点としては違うに加えて最初にしてAという観点が違うというものを</p>
0:07:14	<p>縦型ポンプを持った方についていう違う展開された具体に来ういうよりは違う上どいう考え方的なものと位置付けているといった目で確認する。</p>
0:07:33	<p>なので、中学具体的にはセリウムそのポンプなりなんなりというものに加えて、違うでも考えてもらおうとらえた上で再処理に変更ですということを確認し、</p>
0:07:50	<p>その結果、何があって、</p>
0:07:52	<p>というような話をさせていただければいいと思いますので、そのときに、私及びSaaSチーム 10%</p>
0:08:05	<p>の話っていうのはできてるか見通すのポンプとかについてポンプと同じ機能なんですねその領域の早期のというのはその同じ機能を</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:20	それについては、スチームジェットポンプは、適合ではなくて、時見せてポンプ自体は動的機器の瓶先方と言われたようにベンダーの容量はコンプレッサーのコンプレッサ蒸気発生器
0:08:36	あの状況機能もとなる設備、
0:08:39	思いますけど。そこで同席も持って見ているので、輸送頻度から、それは関係ないと奥で見てた図面が話を丁寧に、前回の質問は、
0:08:56	リバースが上問題意識は通じたでしょうか。
0:09:07	日本原燃域敷設替え理解いたしました。なのでその動的機能として何を対象とするのかっていうところと、あとは今おっしゃっていただいた理想イノっていうところによ。
0:09:22	必要となる動的なものが何かっていうところをちょっと説明として書き下すようにします。以上です。
0:09:36	はい、規制庁かケース飲料液の移送金額が1例で、
0:09:40	PANDA限りダンパだったのに、そういうところを見ながらおんなじような機能を果たしているものを、がないということを確認した上でないということを判断したのであれば冬なんです。
0:09:57	いうところを網羅的に説明をいただく必要はあると思いますんで、そういった形でちょっと整理を進めていきますと、
0:10:08	日本原燃キクチ承知いたしました。
0:10:15	規制庁カミデです。続いてですね、
0:10:28	何だろページに、
0:10:30	別紙で
0:10:35	提示しますという話なのを
0:10:40	先ほどの3ページで挙げた上げて伴う九州で言えば、
0:10:47	このケース数自体が確定したわけではなくて、本当にこの9でいいのかというふうに思ってますけど。
0:10:57	この切るに対して進めする側も前だと。
0:11:02	ここで入れ込んだりしていると思うんですけど、その番館というのもちゃんと示すようにしてください。
0:11:21	はい。
0:11:23	はい、日本原燃スケカワです。今の部分についてすいません説明させていただきます。
0:11:29	まず、こちらの上につや3ページのほうのですね、ちょっと御確認したいんですけども。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:11:35	3 ページの中でまず動的機器に求められる機能維持の評価方法というところを倒壊用の部分のですね、3/3 パラ目の動的に対するところをちょっと割愛させていただきます。その中ではイノ起源確認済み加速度等の確認のほかには詳細評価等を実施するもの。
0:11:53	それで、今回この補足説明資料につきましては、そのうち等の評価保険等っていうところが必要なものというところで冷えるのかで展開させていただくということで、
0:12:04	はい。
0:12:06	整理しております。
0:12:08	以上です。
0:12:14	規制庁カミデちょっとよくわからなかったんですけど、端的にkA種別とこの7ページの5 関係について教えてもらえますか。はい。なぜ9 種別というところはすみません日本原燃のスケカワです。まず9 種別というところは、動的
0:12:32	動的機器の確認が要求される施設というところまで全部記載させていただいておりますハセガワ9 種別と変わっていただいております。一方困難なくすみません日本原燃サガワです。ちょっと回りくどくなってしまうのでまずこの資料は直さなきゃいけないというところで理解しまして直し方としましてはこれまでコメントいただいている水平2 方向とかと一緒にですねということで自分理解してます。
0:12:52	スタートのところで、こういう考え方で抜け漏れがないよということで、ステージ9 になるのか増えるのかっていうのは今からそこ全体フロー描きますと、その全体フローを描いた上で、企画上にある。
0:13:08	&AD比較機能維持の確認済み加速度と比較するものについては、計算書の中にすべて落としていくと計算書の中で示していくんですけども新たな加振試験をやったものとか、強度評価で示すものっていうものについては補足の中で個別に示していくっていうのが全体像になってきます。
0:13:28	で、それらの関係っていうところで、別紙1 から5 っていうところに行ってるんですけど、物量とどういうものがそこに行くんだっていうのは、フロー描いた上で書かないと全くわからないなということで理解してますので、ちょっと全体的に直させてください。以上です。
0:13:47	はい。カミデさんの問題意識は多分つとますので、全体整理させていただいて、気をつけて欲しいのは
0:13:59	7 ページの都合、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:02	いやここだとか、ニュアンス油ポンプとかという言葉が使われているんですけど、3 ページにはそのものの言葉がないので、ちゃんと対応作りやファンド全体整理する中で、
0:14:17	ちょっとバー合併に違ってきた少ない。
0:14:22	どうぞ。
0:14:24	聞こえます。
0:14:28	はい、日本電産はですね、言葉の整合っていうところと、先ほど冒頭この質問の規定になりました相関関係っていうところも理解していますので、そのような形で全体像と資料の整合をとらせていただきます。以上です。
0:14:45	規制庁カミデです。私の方から耐震に連中 4 については、地方部です。
0:14:54	規制庁の武田です。それその他耐震記念 14 につきまして規制庁側から確認事項ございますでしょうか。
0:15:17	規制庁ハバサキです。14 の内容についてはではないんですけども、14-25 ページの一番下のところですね、添付書類云々で、マスキングのところは 1ヶ所あるんですね。
0:15:34	先ほどの 13 番の資料かな。
0:15:39	その 21 ページを見ると、
0:15:43	21 ページの 3.4. 1 のところなんですね、ここ
0:15:49	出たとこマスキングになってるんですけども。
0:15:52	これ使い分けの
0:15:55	どうしてこういう形になってるのか、もし理由があったら説明をしてもらいたいですけど。
0:16:32	日本原燃の石松です。
0:16:36	日程と耐震定期連中三番の資料の方につきましてはこちら設計方針っていうところを取り安全冷却水AB冷却等の設計方針というところですね記載全体的に記載していますのでちょっとここ冷却塔、
0:16:52	機器名称も含めてちょっとマスキングにさせていただいていると。
0:16:56	ただこの耐震綺麗に 14 番のほうにつきましては、この内容ってところが別可能とか設計方針というところではないのでトーマツ機器弁償だけが機器番号だけの
0:17:11	ちょっとマスキングとなっているんですけども確かにちょっと方向へと整合という意味ではとれていないところはありますので、まずはちょっと確認を別途確認をさせた上でさせていただいた上でちょっと回答させていただきたいと思っています。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:26	規制庁浜崎です。今の御説明ですと設計方針に関わるものについては、基本的に全然全部といいますかマスキング領域方向になってそうでない、14の資料みたいなどころに関しては部分的にということ。
0:17:44	で、理解はしたんですけども今日の資料に関して冒頭ありましたようにですね、ちょっとマスキング箇所がやはり多いとマスキングに関しては審査の初めにいろいろやりとりがあったんですけども、今後、補正に向けてですね
0:18:02	詳細な内容の確認の中であまりマスキングが日多い場合にはなかなか今日みたいにヒアリングも円滑に進まないこともあるのですね、もう1回厳密にそこら辺、精査した上でですね必要な数だけをマスキングするような形で、
0:18:22	ですね、お願いしたいと思います。全体の方針としてはもう1回が固まっていると思うんですけどですねサイドですね
0:18:30	今後詳細な文章の確認等が増えると思いますので、対応のほうをお願いしたいと思います。以上です。
0:18:39	日本原燃始末です。承知いたしました。
0:18:47	規制庁の武田です。その他耐震記念14規制庁側から特に事故ございますでしょうか。
0:18:56	よろしければですね耐震記念14とあと、先ほど聞きそびれたんですけど耐震記念13、こちら両方の資料の修正方針について説明をお願いします。順番どちらからでも大丈夫です。
0:19:12	はい、日本原燃ハラダです。まず耐震き電13のほうですけども、こちらのほうは耐震評価ですね、がどういうふうに行っているかがわかりにくいというのに尽きるかなと思います。
0:19:27	で、松でもってですね基本設計方針に従って評価しなければならないんですが、そちらとの整合
0:19:37	或いは読めるようにすると。
0:19:40	これは基本設計の方針のほうを直すか或いはこちらの資料の20ページですね、フローのほうなんすかしてその辺の繋がりがわかるようにしなければならないというのが一つ大きな直してございます。
0:19:57	もう一つが20ページのフローをですね、こちらがいろんなモデルを使っている力のやりとりであったり、入力しながら評価を進めているんですが、見て何を入力してどういう評価をしているのか。
0:20:14	そういったところをわかりやすく直さなきゃならないというところを修正したいと考えております。13番は以上です。
0:20:24	14番のほうは、こちらまち動的機器の網羅性ですね、こちらのほうをどうやって9種類。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:35	抽出したのかっていうのを少しわかりやすく整理すると、
0:20:39	その後、昨日 1 必要なのが、この資料で言うところ五つに落ちていくんですけども、その繋がりもわかりやすく修正すると、それから言葉も合わせるといったところですね。
0:20:53	大きくはそういった修正を施します。以上です。
0:20:58	あとマスキングですね次の右上の件もちょっと事務局に確認してですね、適切な方法でマスキングするように調整いたします。以上です。
0:21:14	規制庁の武田です。ありがとうございます。
0:21:18	それではですね確認しようとし本日確認予定であった資料については以上となります。
0:21:27	ここまでで規制庁側から、
0:21:31	その他確認事項ございますでしょうか。
0:21:37	規制庁津金です。マスキングに関連するんですけども、さっきの 13 の資料で、
0:21:44	通しの 13 ページのところ、
0:21:46	新規性基準による耐震補強曜日変える方の防護対策についてのところなんですけども、例えば(工)とか格好とかですね、これについては、外部火災のここで議論していても、こういうことやるんだっていうことはすでに表明されているのかと思われるんですけども。
0:22:06	それであってもやっぱりマスキング対象になってしまうのか、ちょっとこの辺、
0:22:11	わかれば説明していただけますか。
0:22:25	日本原燃の石橋です。今ご質問いただきました件についても先ほどの名称機器名称とかと一緒に一緒にですねちょっと事務局に確認させていただいて、まず、耐震基準中 34 全体的にですね、どこにマスキングが必要で特にマスキングが必要じゃないかというところを整理したようで。
0:22:45	再度資料を提出させていただきたいと考えてございます。以上です。
0:22:51	規制庁津金です。今の説明は理解しましたもと設計のところ分については公開できないっていうのはわかるんですけども、今回の新規基準対応で国内対応ということでやらなければならない対策みたいなものはある意味、国内独自のものなので、
0:23:08	そこまで出せないっていうことを言われているのかどうかっていうところも含めてちょっと教えていただきたいと思います。特にへの解析モデルについては燃える自体、今すべてマスキングになってますけれども、
0:23:22	そのやり方について一つやるかっていうぐらいは言えないでもいいんじゃないかというところも思いますので

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:29	細かい内容例えばモデルの惣菜図みたいなもの出せないっていうのはよくわかるんですけども、じゃあそのモデル組むときにどうい
0:23:36	どっちのモデルでやるのか。
0:23:38	簡単なやつでやるのか詳細なものでやるのかっていうところぐらいまでは説明可能なのではないかと思いますけれどもマスキング考え方がちょっと出てきたところで今進んでしっかり確認していただけて説明していただきたいと思
0:23:54	日本原燃の石橋です。ご指摘の検証といたしましたと事務局に確認した上で再度資料提出させていただきます。以上です。
0:24:04	規制庁カミデですけどコマース点での計に加えてですか。以前からこの話をし
0:24:19	ニイ頼るのではなくて、そもそもまず健康がないように資料作ってくださいよとい
0:24:34	資料作っていてももらわないと、結局、とりあえず使用できますのでチェックが分
0:24:52	よこしているんですけど。
0:24:54	ほかにまだ2自分たちの仕事じゃないんでみたいなことはこうやってないの
0:25:08	思ってますし、我々も大事ですし、事業者としても、そこは大事なんじゃないか
0:25:18	未立ち返ってですね、きちんと透明性のある
0:25:25	企業作るというところできちんと取り組んでもらいたいと思います。よろしく願
0:25:35	日本原燃の石松です。今ご指摘いただきましたところですけど、今今のスキ
0:25:54	いうことを踏まえましてどうしても設計と今回の耐震のような時設定に関わるよ
0:26:04	ブースティングから内容に品等中身対象の中身っていうところを説明するとい

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	させていただきます通り、まず実際本当にどこにマスクングが必要では必要じゃないかっていうところは事務局と、
0:26:21	再度ちょっと確認させていただいた上で、もし今の現状と何も変わるものであればちょっと失敗についても御説明させていただきますし、とか割合とマスクングの外れるようであればそこについてもちょっとこれからへと議論させていただきたいなというふうに思っておりますので、
0:26:37	まずはちょっと次回きっちりすまではちょっとマスクングの箇所については事務局と相談して回答させていただくようにさせていただきますと思っております。以上です。
0:26:51	規制庁カミデです。内部で連携をとってやってもらう報告後、ヒアリングのスケジュールですけど、
0:27:02	こういう形で旅行教育長の高温でやったということには、
0:27:07	今までやってますけど、
0:27:10	要する対応っていうこともできるんですけど、そうなるべく今度我々もやりたいと思っって洋酒対応になりそうな冷却をもう設計方針が細々とした内容で話をするっていうところは、
0:27:28	賠別途ヒアリングの日程も同じ時期に片面とか指定の用紙対応にもう限定的にできるよね。絶対ではないんですけどちょっと考えてもらえれば思います帰国します。
0:27:50	はい、日本原燃了解しました。
0:28:01	規制庁カミデですけど、今後のスケジュールについてはここですか。昨日のラッパ部だと陸上関係の話がまだ作業の積み上げがきちんとできてないようですけど。
0:28:16	何か説明できるようなことは、
0:28:21	日本原燃佐藤です。
0:28:25	防護ネット確保の基礎部分の液状化の評価を進め方につきましては、ちょっと協力企業の方とも
0:28:36	相談して今月末までに補足説明資料のほうに、
0:28:42	解析の条件や考え方とかという設定した物性値のそういった条件含めかつ代表的な地震になるんですが、措置等についてを解析結果も落とし込んだ形で提出させていただきたいと考えております。
0:29:04	すいません 9 月末に提出させていただきたいと考えております。その中の、それをベースにちょっとヒアリングをさせていただいて、
0:29:16	追加の解析がなければ、10 月の中、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:24	ぐらいの審査会合に向けて準備をうかがわさせて進めさせていただきたいと考えております。
0:29:32	以上です。
0:29:36	はい、規制を歓迎する。9月末ということで、
0:29:43	それまでは途中段階の話とかはないっていうか聞きたいと言って求めているわけでは全然ないんですけど、予定として、9月末まで待ってくださいということも／その辺も少しずつ
0:30:02	はい。
0:30:05	日本原燃、佐藤です。
0:30:06	今
0:30:10	F-8mm解析のご努力カーのほうの検討進めている中で、
0:30:15	事前に確認しておいたほうが大きな手戻りがないような町建設鉄塔がちょっと今、若干想定されてますんで。
0:30:31	それについて、
0:30:34	一度、今ヒアリングの機会をいただけ
0:30:39	いう場合いただきたいというような難しいから
0:30:45	お願いをする
0:30:47	可能性もちょっとありますがちょっとそこまでちょっと今、見通せてないので、正確なヒアリングのお願いっていう形にまでは至ってないような状況でございます。
0:31:00	以上です。
0:31:03	規制庁カミデです。わかりました。実際に作業されるカッター発注先ロッカーの方とも相談して何語効率的なやり方かということ。
0:31:16	考えてですね、ヒアリングするの提言問題ないって、そのあたりについてはまた及び検討いただいて、事務的に連絡いただければ。
0:31:30	キクチ
0:31:33	日本原燃佐藤です。ありがとうございます。
0:31:37	必要であれば左のほうにお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。以上です。
0:31:47	規制庁津金です。
0:31:50	今のこの話ということで今井長官の話をされたんですけども、
0:31:55	地盤モデルとですね大分
0:31:58	決着がついてきたところもあり、実際のもですね、地震応答解析だとか、応力解析とかでも関心警察署の方をですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:06	確認を進めていかなければいけないと思ってるんですけども、具体的にはその解析の終わる時期っていうのは地盤モデルは9月の半ばぐらい入れ液状化については9月末って話なんですけど。
0:32:18	それまでにその数字、
0:32:20	ともかくとして、組織としてきちとしたものを準備されているかどうかというところを、
0:32:27	確認したほうがいいのかなどと思ってるんですけども、事業者の方として、この間ちょっと
0:32:35	別添資料っていいですか経済省別添として付けて出してきてもらったものがあるんですけど、これまでの会合等の議論を踏まえて、補正申請も睨んだ形でどういったそれを作るのかってところについて我々確認できるのかなと思うことができるかどうかとか、
0:32:52	教えていただきたいんですけどもその辺いかがでしょうか。
0:32:57	日本原燃佐藤です。
0:32:59	当室担当がちょっとイノでもしかしたら、若干間違った話になるかもしれませんが解析自体のほうはもう9割9分ぐらい整理できていて、ヤツ層槽に
0:33:15	計算結果含めてお出して、それで、9月中ぐらいにヒアリングというような
0:33:23	思っていたかと思しますので、提出時期については改めちゃんと確認いたしますが早い段階で出すようにちょっと準備して進めたいと思います。
0:33:38	以上です。
0:33:40	規制庁ツガネです一体化申請では対処設備それほどないので、品質といいます点数は少ないんですけど例えばMOX建屋なんかは建屋の行こうとスペクトルとかいろんな添付する書類がいっぱい出てくると思うんです
0:33:57	当初申請でもすでに出てきているものの、いろんな議論を踏まえると、もっと足さなければいけないものといっぱいあると思うんで、そういったところを含めてまずどういった形で直していくのかって方針があつてですね、具体的にこういう形で直すって話があつて、最終的に数値を入れて、こういう形になりましたっていうのは3段階ぐらいの
0:34:16	もう進め方がのかなと思ってるんですけど、その一段階目みたいなところはもう、すぐにでも説明していただけるんですかね。
0:34:25	いかがでしょうか。
0:34:28	日本原燃佐藤です。
0:34:32	お出しした中で、
0:34:37	そして店から追加になるような部分が大きく変わる部分といったものをもうセットで説明させていただきたいと考えていると思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:34:50	そういう意味でちょっと分けてというような
0:34:56	思いが今の所なかったのですが、
0:34:59	ちょっと提出時期、
0:35:02	この確認した上で、ちょっと水槽点についてもご回答するようにいたします。
0:35:09	以上です。
0:35:11	規制庁津金です。右腕パッケージでもってこられたときに、いろいろ細かい指摘が出て何度もこの往復するっていうのはなるべく避けたほうがいいかなと思ってましてで効率的にやるっていう意味で、まずはその形をきちっと作ってしまって、あと数字は、
0:35:28	見れるだけみたいな形の人がいた方が、
0:35:31	作業も効率的に進むのかなと思ってます
0:35:34	解析結果も含めて全部稼働と出されても、その結果はともかくマーク組織とか説明が足りないっていうところがどんどん出てくるとそこでまた時間がかかってしまって、数字の確認はともかく、それ以前のところで、
0:35:50	きちっと性が固まらないっていうことがあるのはちょっと避けたいと思ってますのでその辺も含めてちょっと御検討いただいて御回答いただければと思いますが、今、事業者として考えているのが9月半ばを今考えていたというところは理解しました。
0:36:04	日本原燃者でございます。海進の関係の今日ヒアリングですがですが耐震だけではなくて全体としてやはりもともと宿題いただいている別紙シリーズで添付書類の文章系のところは0の比較をした上で適正変えるんですが実際の計算結果のところの
0:36:23	応答曲線のアウトプットだったり小だったりいろんなものがありますのでその確認っていうのはどこでやるんだっていうのは今のスケジュール上機会と書けてないところありますがそういった計算書類のヒアリングのタイミングというのも、計算結果と逆に切り離してというか、まず、
0:36:41	形としてどうなんだっていうのも含めて、ヒアリングできるタイミングをちょっと全体として諮りたいと思いますのでそこはスケジューリングをとさせていただきたいと思います。
0:36:54	規制庁津金です。ただいまの説明で理解しましたよろしく申し上げます以上です。
0:37:03	規制庁カミデです。あと応能スペック就労パンフ平米、
0:37:13	すごい融合炉とスケジュールについて不満に一番下位もあれなんですけどもさと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:20	来週は耐震関係のヒアリングの内容になってたかと思うんですけどその認識でよろしいですかね。何かやって欲しいというわけではないので確認だけ。
0:37:38	日本原燃西野でございます 27 日付のスケジュールが最新だと認識をしますんで今の予定ではグループ 1 だけを今予定をしております。その辺はすみません別紙シリーズが大分まとめて、
0:37:55	お出しをしますんでそういったもののスケジューリングを考えた上で今やらさせて調整させていただいた結果として、グループ 1 だけということになってございます。
0:38:08	はい、規制庁個別ロックを開始しました特に大庄だけに具体。
0:38:15	No.1 ページでないと判断し、
0:38:25	規制庁タケダです。その他連絡事項等ございますでしょうか。
0:38:31	はい。
0:38:32	はい。ないようでしたら本日のヒアリングは以上とさせていただきます。すみません、日本原燃キクチですけれども、そう。
0:38:39	日程強度のスケジュールの話で今別紙共通 00 ですね、別紙 1 から 5 のスケジュールを出しさせていただいてたんですけども、本日のヒアリングで御指摘いただいた内容と、あとは
0:38:55	添付書類の壁ってなのかっていうところの識別っていう部分であと基本方針に出さなきゃいけないような事項っていうところを踏まえまして、ちょっと今お出しさせていただいたスケジュールのほうを社内で調整させて、
0:39:09	した上で押すと、
0:39:12	スケジュールのほうを見直したもので提出させていただきたいと考えております。以上です。
0:39:22	規制庁タケダです。わかりました。ではその辺を対応お願いいたします。
0:39:29	はい。その他ないようでしたら本日のヒアリングは以上といたします。お疲れ様でした。
0:39:35	それからニシヤマありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。